

第6回県政インターネットモニターアンケート集計結果
文化・芸術に関するアンケート
食の安全・安心に関するアンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、合計が100%にならない場合がある。

○文化・芸術に関するアンケート

今回、県の文化振興事業に活用するため、県民の皆さまの地域における文化的環境への満足度や、日ごろ、県内の文化財や世界文化遺産にどれくらい関心をお持ちかについてアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

○食の安全・安心に関するアンケート

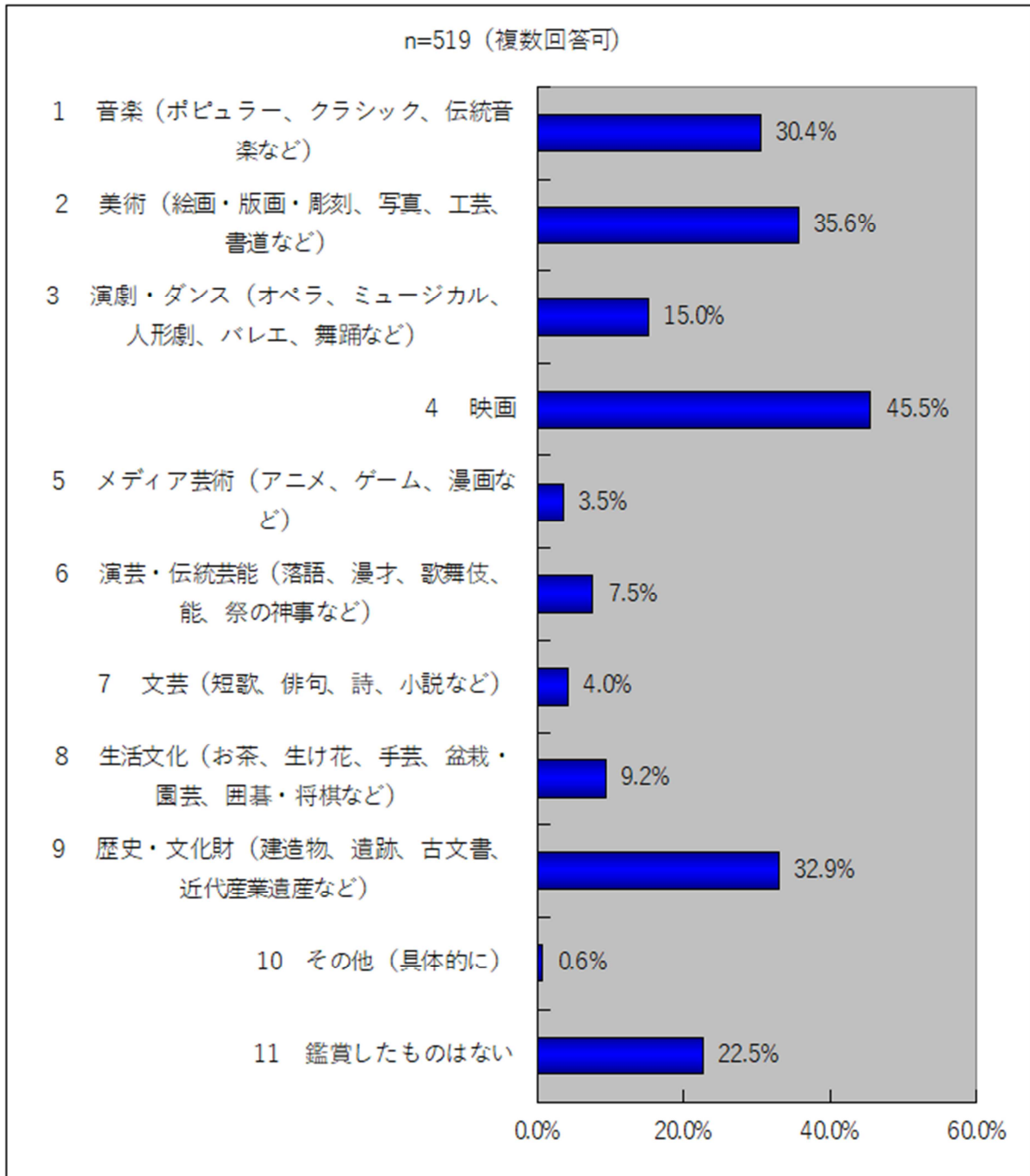
食品は、その安全性や信頼性が大変重要であるため、県では、食の安全・安心を確保するための様々な取組を進めています。

そこで、「食の安全・安心に関する意識調査」を実施し、今後の施策の参考としたいので、ご協力をお願いします。

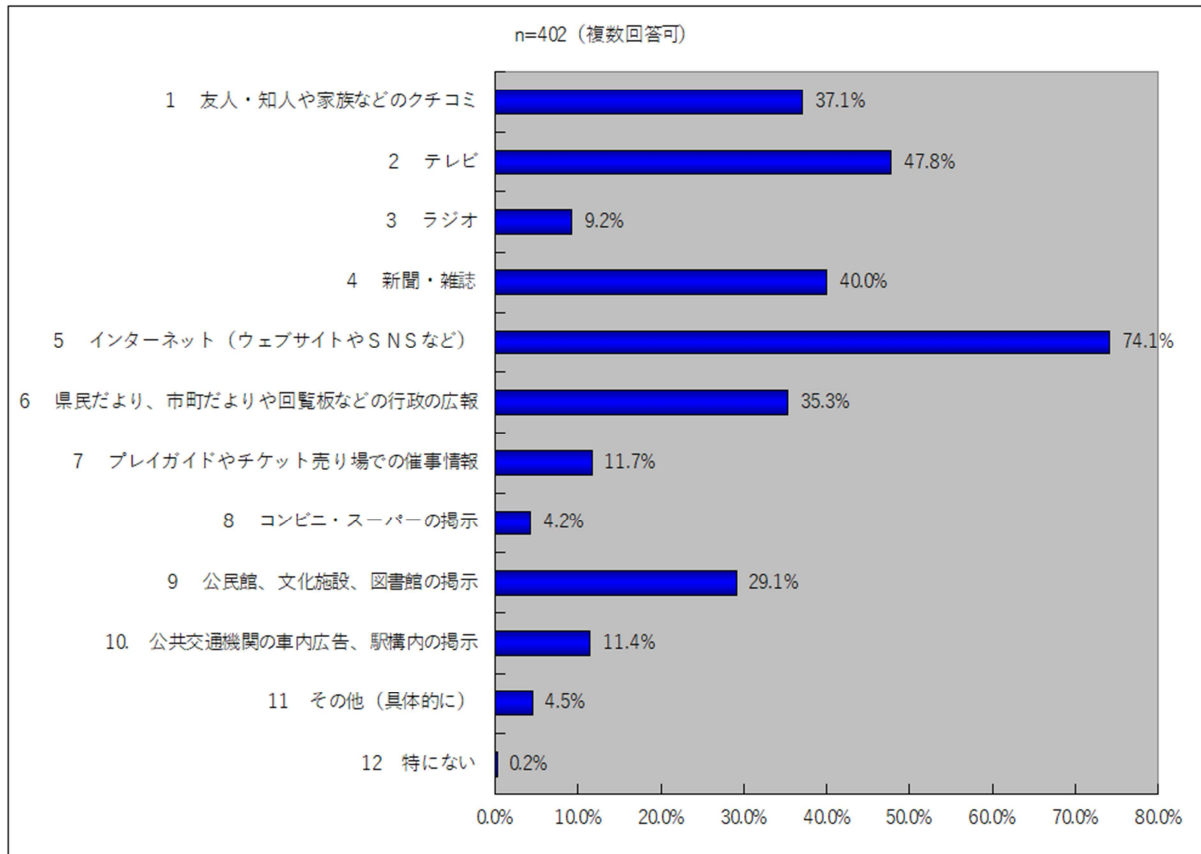
回答者数：519人（回答率：77.3%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	214	41.2%
	女性	304	58.6%
	その他	1	0.2%
年代	10代	12	2.3%
	20代	32	6.2%
	30代	59	11.4%
	40代	91	17.5%
	50代	138	26.6%
	60代	105	20.2%
	70代	61	11.8%
	80代	21	4.0%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	2	0.4%
	東部	170	32.8%
	中部	203	39.1%
	西部	143	27.6%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	38	7.3%
	会社員	158	30.4%
	公務員	15	2.9%
	パート・内職従事者	96	18.5%
	学生	37	7.1%
	無職	144	27.7%
	その他	31	6.0%

○文化・芸術に関するアンケート

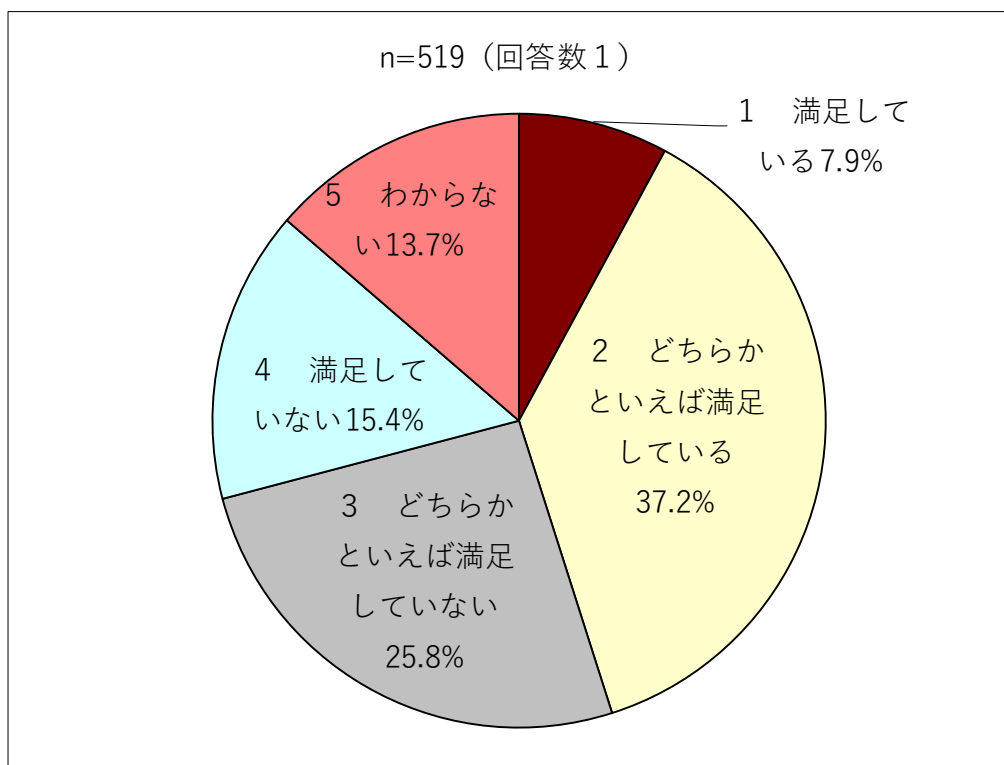
問1 あなたが、昨年1年間に、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などの会場や屋外等で、直接、鑑賞した文化・芸術は次のどれですか。(複数回答可)



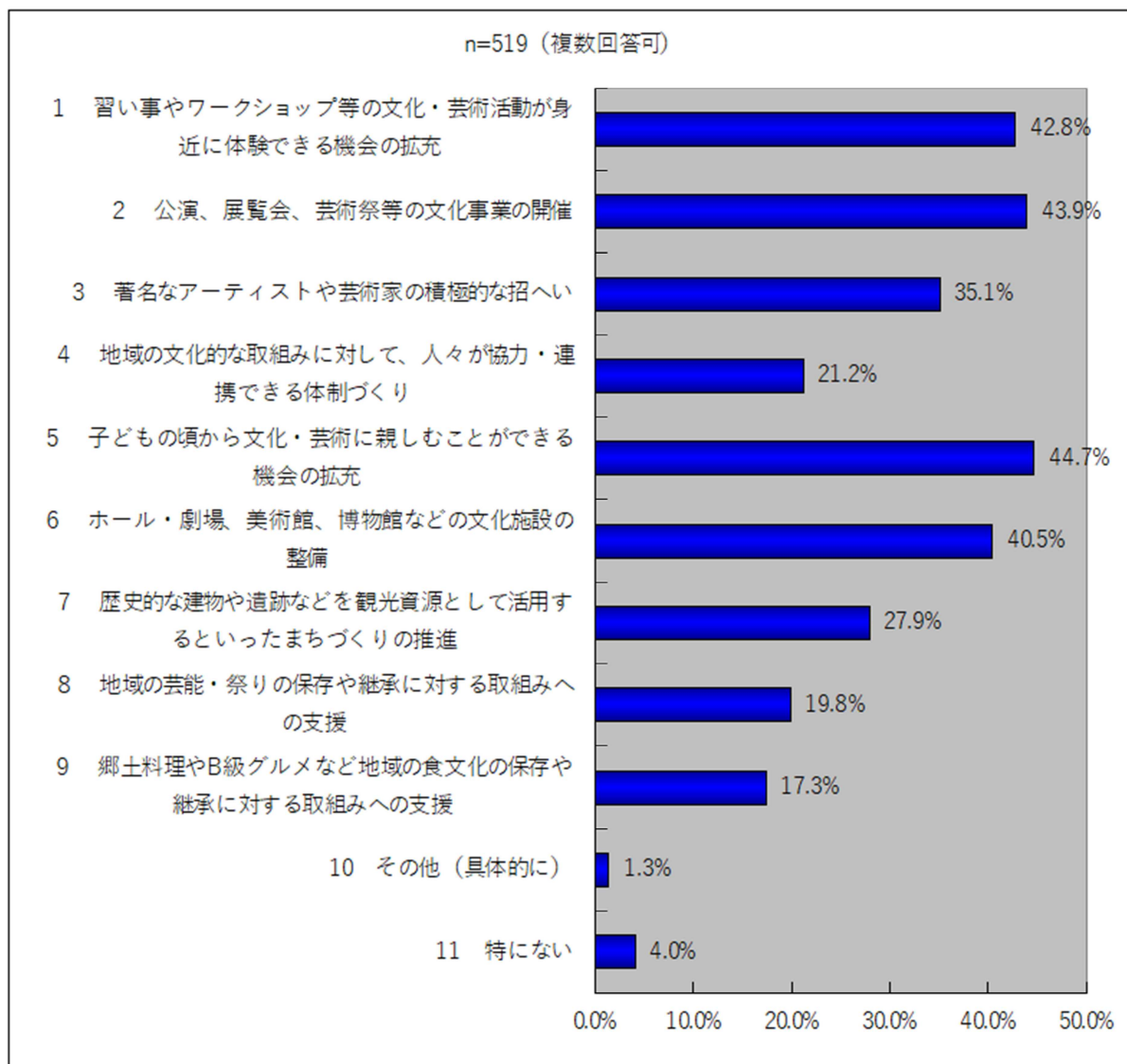
問1-2 問1で選択肢1~10 を選択された方に伺います。あなたは、直接、文化・芸術鑑賞をする機会の情報を入手するために、現在どのようなもの(媒体・手段)を利用していますか。(複数回答可)



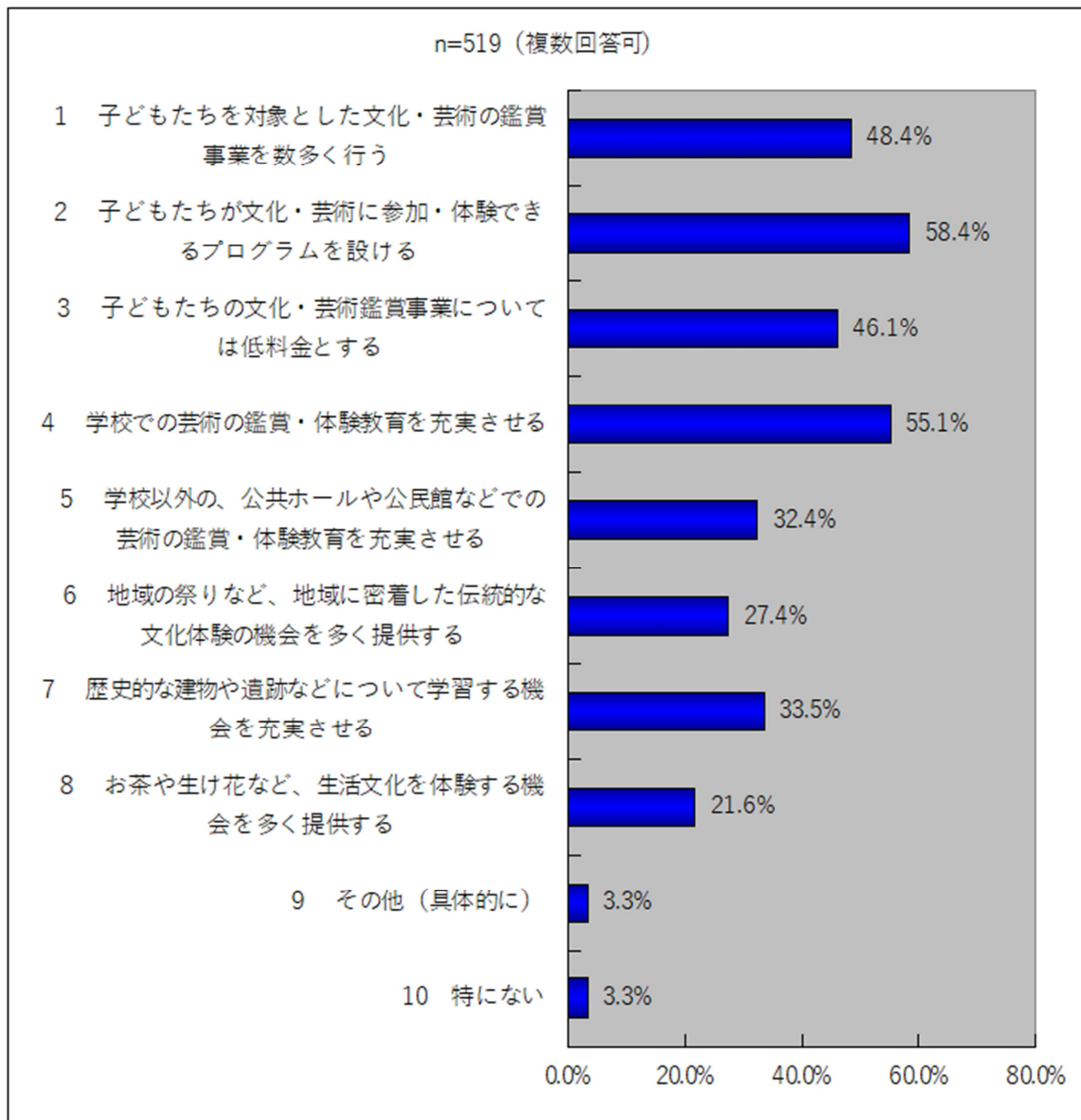
問2 あなたは、文化・芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や、文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域の文化的な環境に満足していますか。(回答数は1つ)



問3 あなたは、地域の文化的な環境の満足度向上のために、何が必要だと感じますか。
(複数回答可)

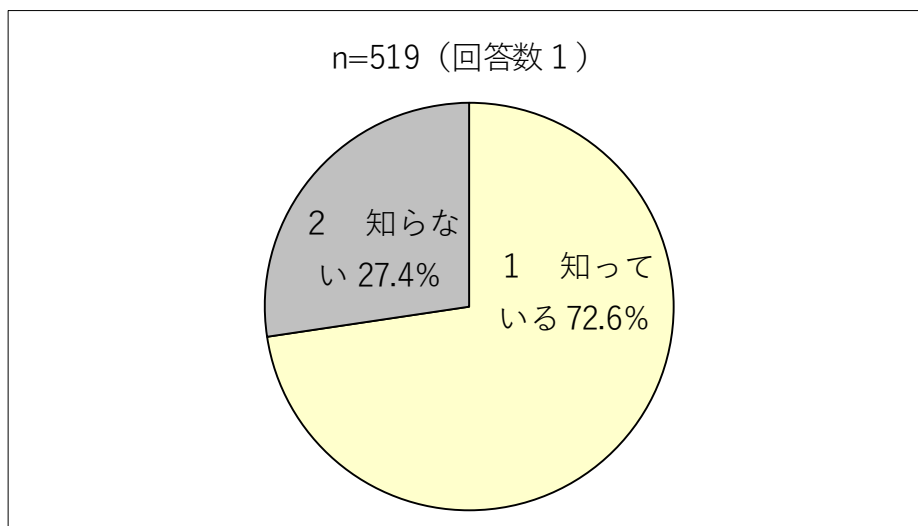


問4 県では、子どもの頃に様々な文化・芸術に触れる機会の充実を図ることを、重点施策の1つに挙げています。あなたは、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(複数回答可)

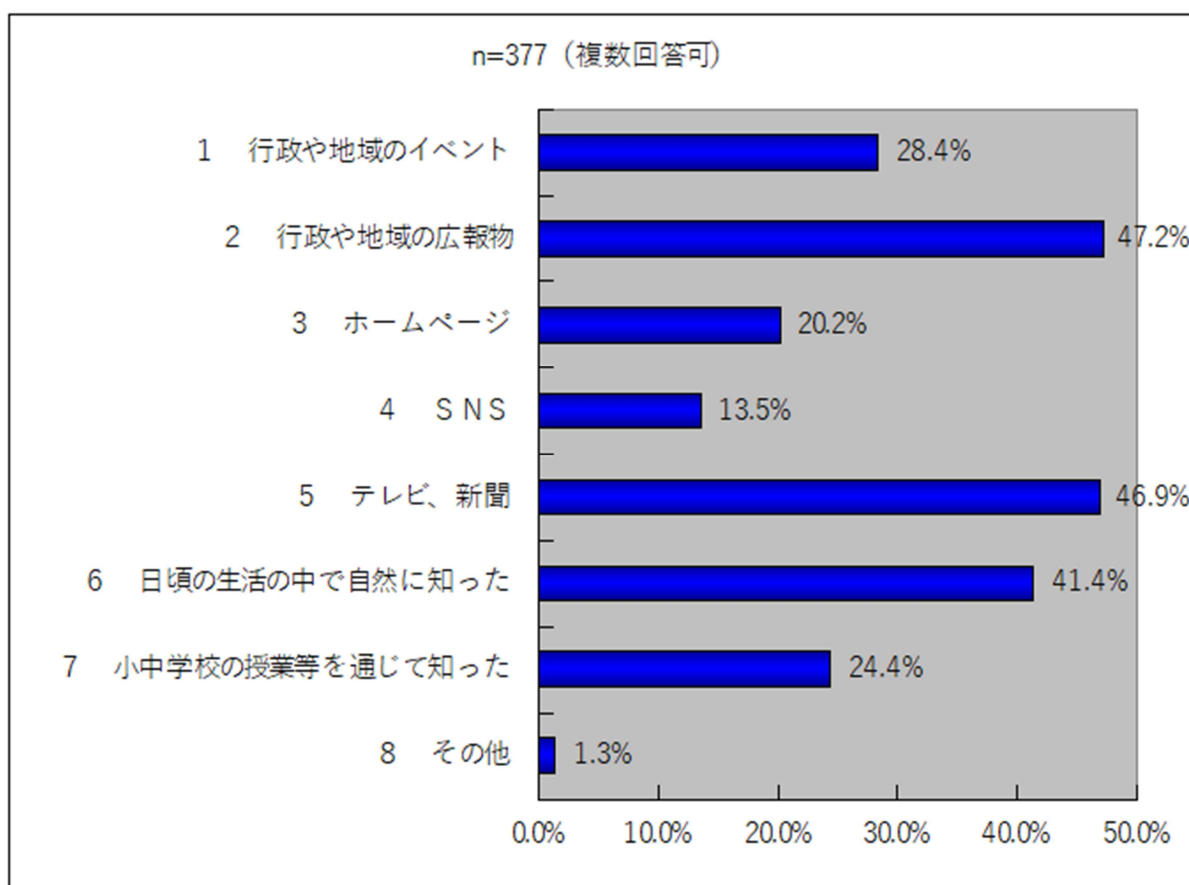


問5 あなたは静岡県内にある文化財※を知っていますか。(回答数は1つ)

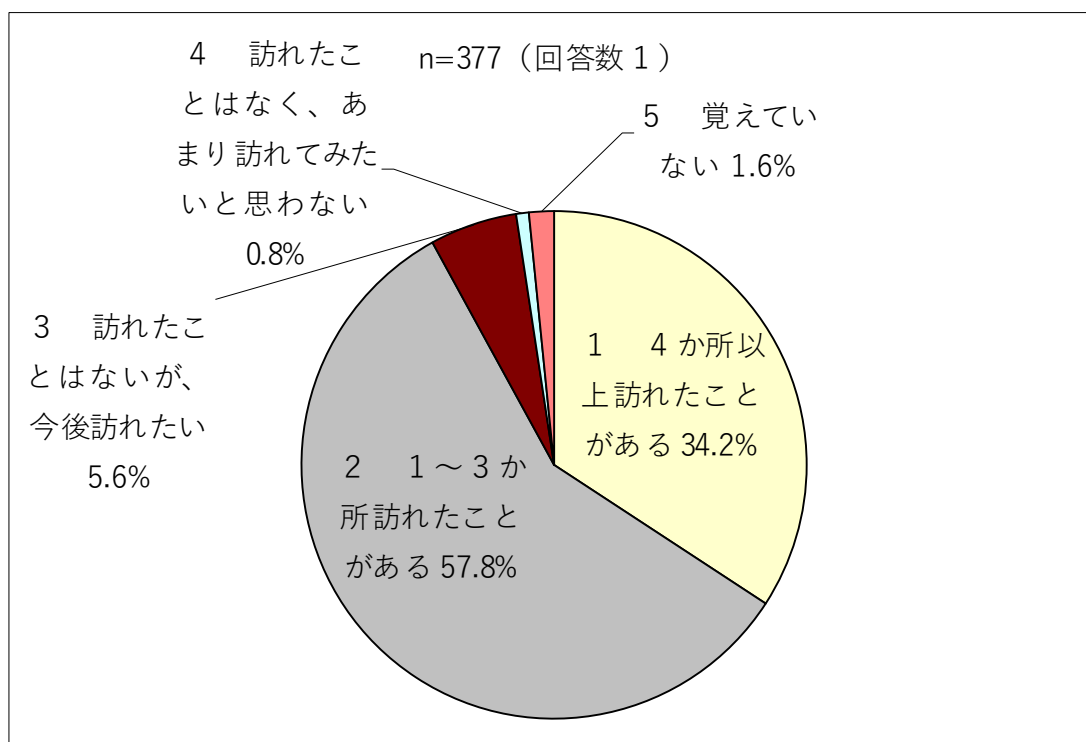
※文化財とは我が国や地域の歴史・文化の正しい理解に欠かすことができない建造物や民俗芸能、遺跡などを指します。



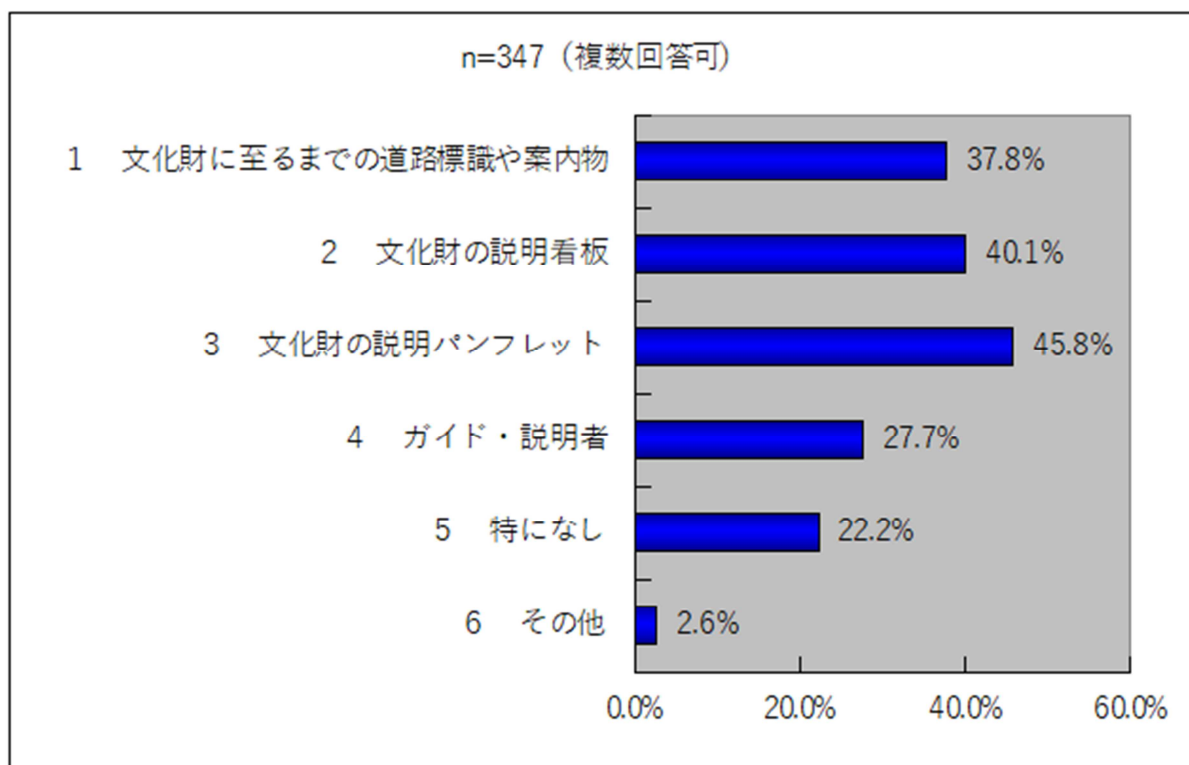
問5-2 問5で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、どのような手段でその文化財を知りましたか。(複数回答可)



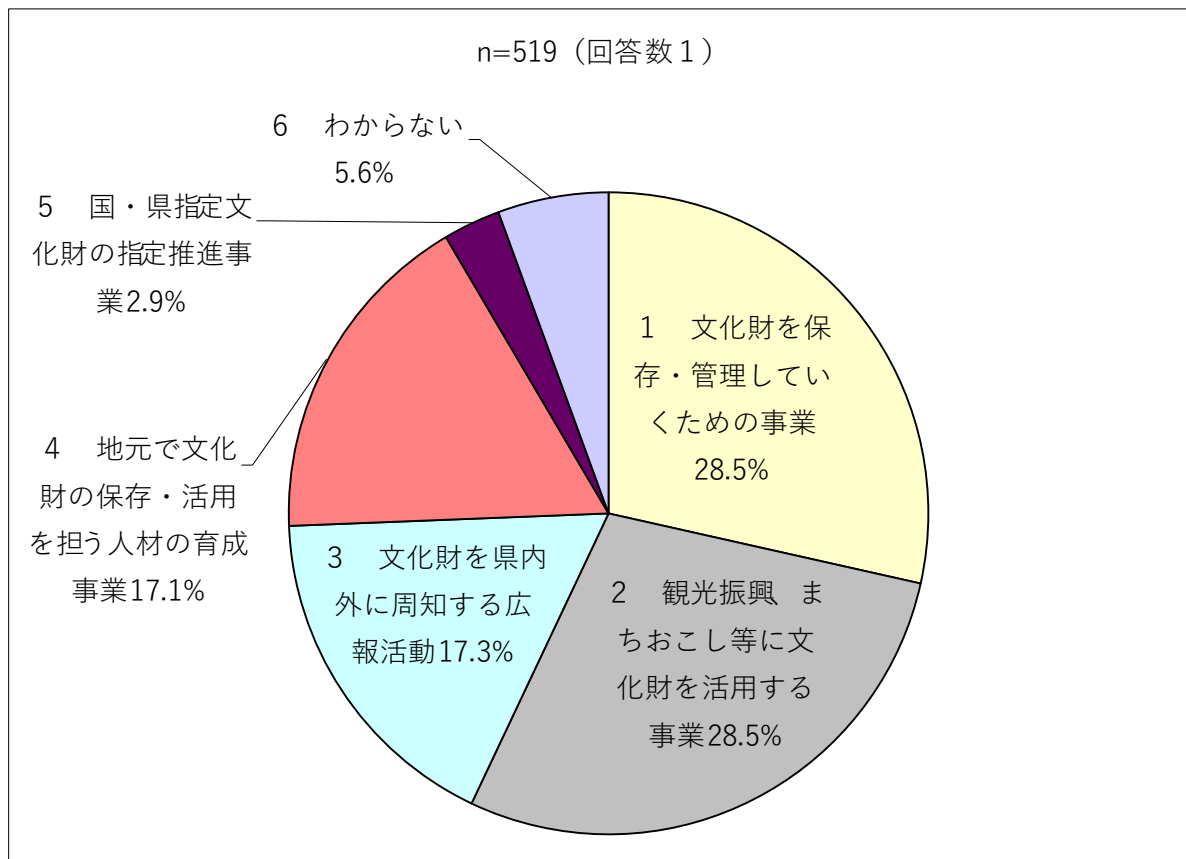
問5-3 問5で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、静岡県の文化財を訪れたことがありますか。(回答数は1つ)



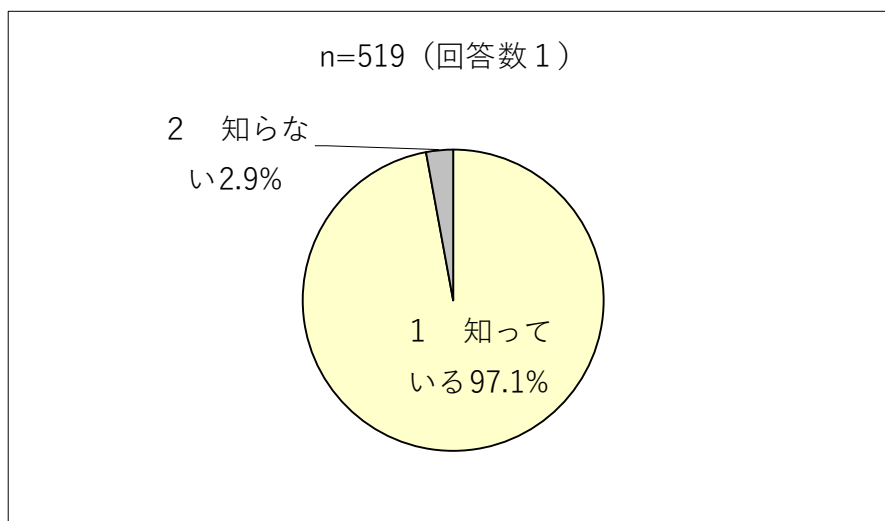
問5-3-2 問5-3で選択肢1または2を選択された方に伺います。訪れた際に用意されていた方が良かったと感じたものはありますか。(複数回答可)



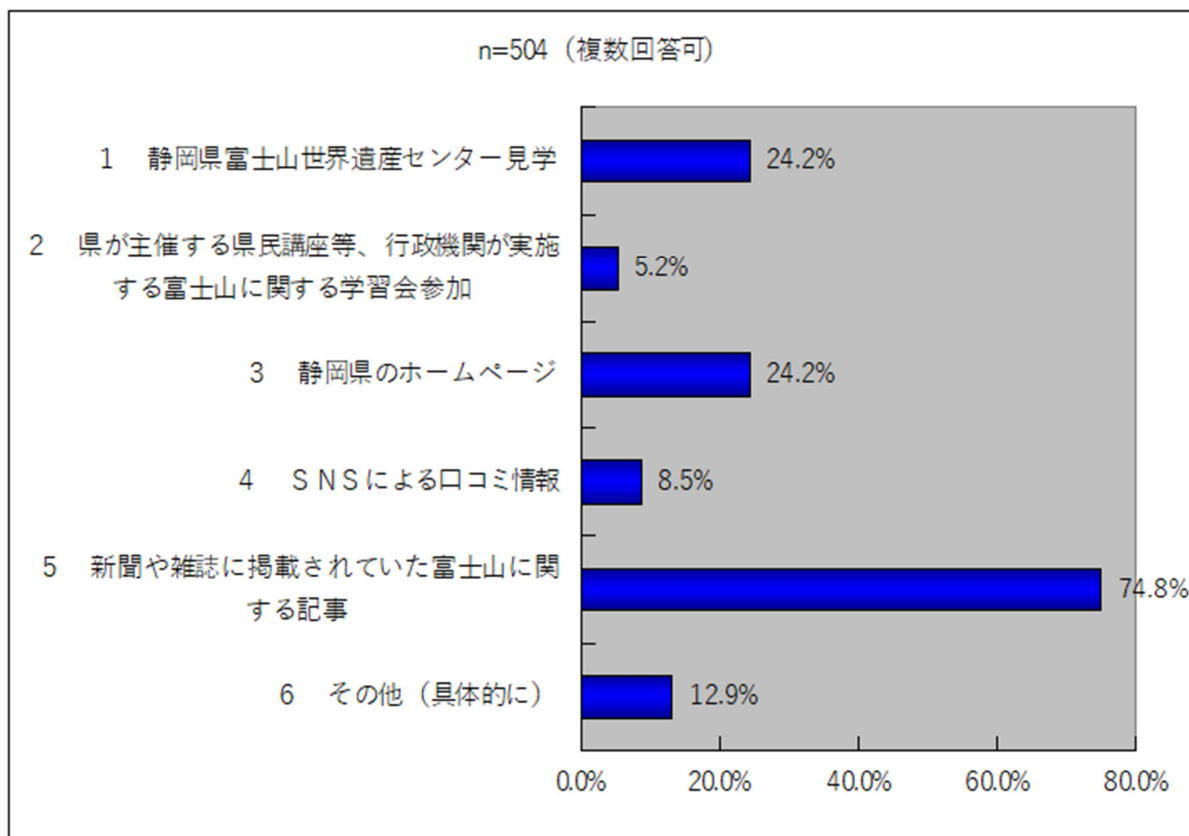
問6 文化財を後世に継承していくために、県はどのような施策をするのが一番良いと思いますか。(回答数は1つ)



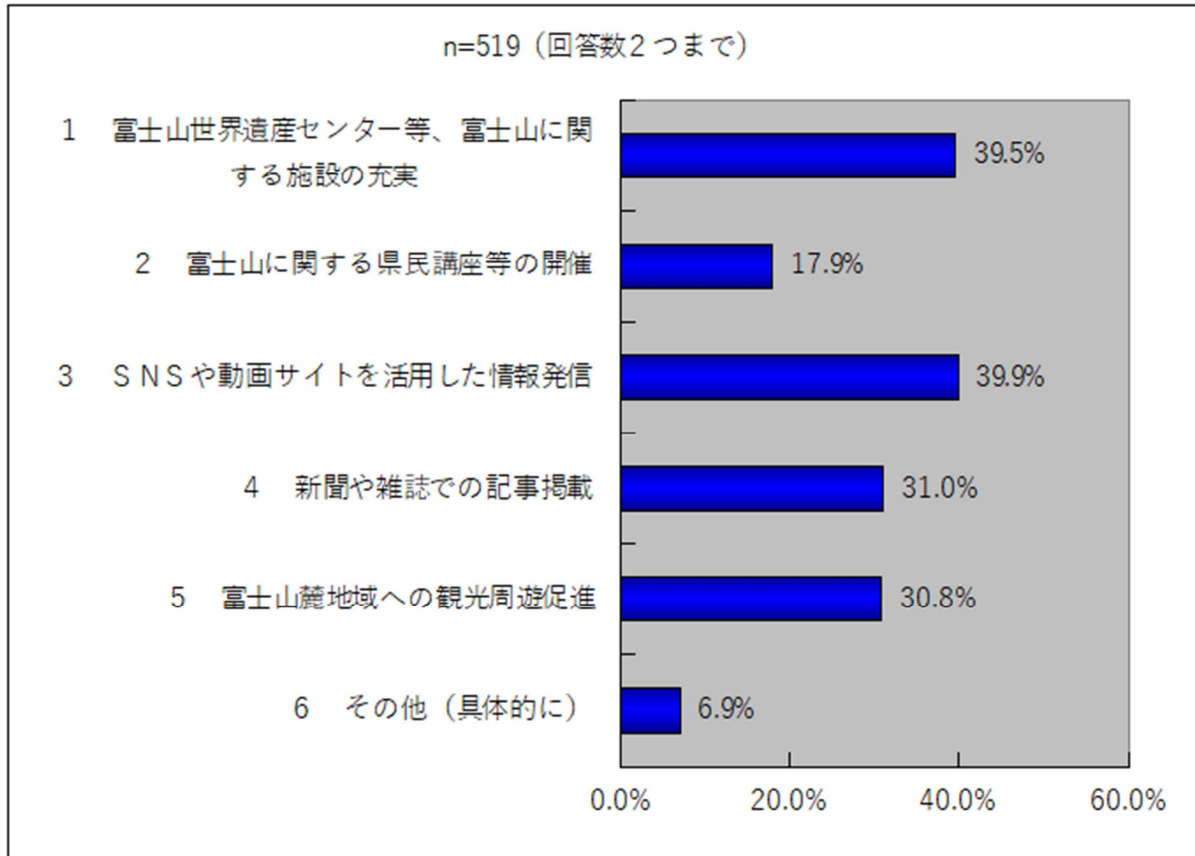
問7 富士山は平成 25 年に世界文化遺産に登録されました。あなたは、富士山が世界文化遺産として登録されていることを知っていますか。(回答数は1つ)



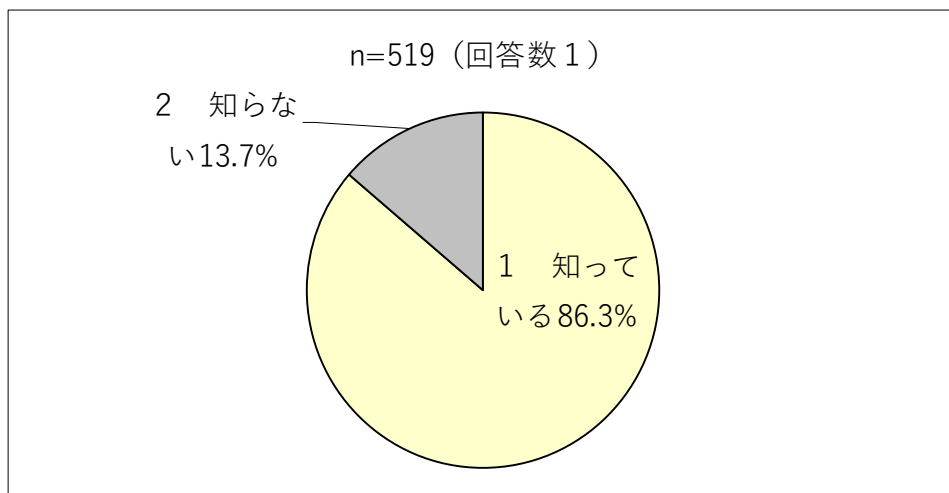
問7-2 問7で選択肢1を選択された方に伺います。富士山が世界文化遺産であることを知ったきっかけは何ですか。また、富士山について学んだことがある場合はどこですか。
(複数回答可)



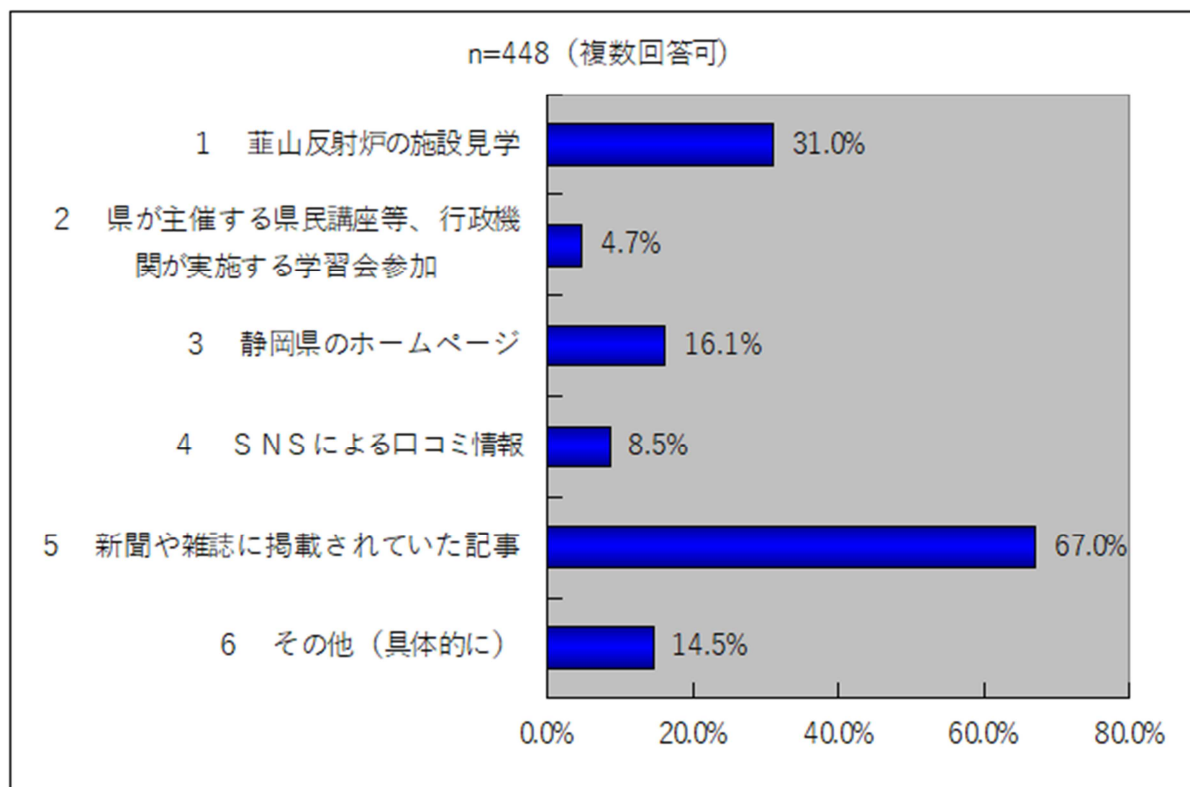
問8 富士山は、「信仰の対象」と「芸術の源泉」という2つの顕著な普遍的価値が認められ、世界文化遺産に登録されました。それらの顕著な普遍的価値を広く知ってもらい、次世代に引継いでいくためには、何が効果的であると考えますか。(回答数は2つまで)



問9 韮山反射炉が世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産であることを知っていますか。(回答数は1つ)



問9-2 問9で選択肢1を選択された方に伺います。韮山反射炉が世界文化遺産の構成資産であることを知ったきっかけは何ですか。また、韮山反射炉について学んだことがある場合はどこですか。(複数回答可)



問10 文化・芸術に関するご意見やお気づきの点がありましたら、ご記入ください。(500字以内)

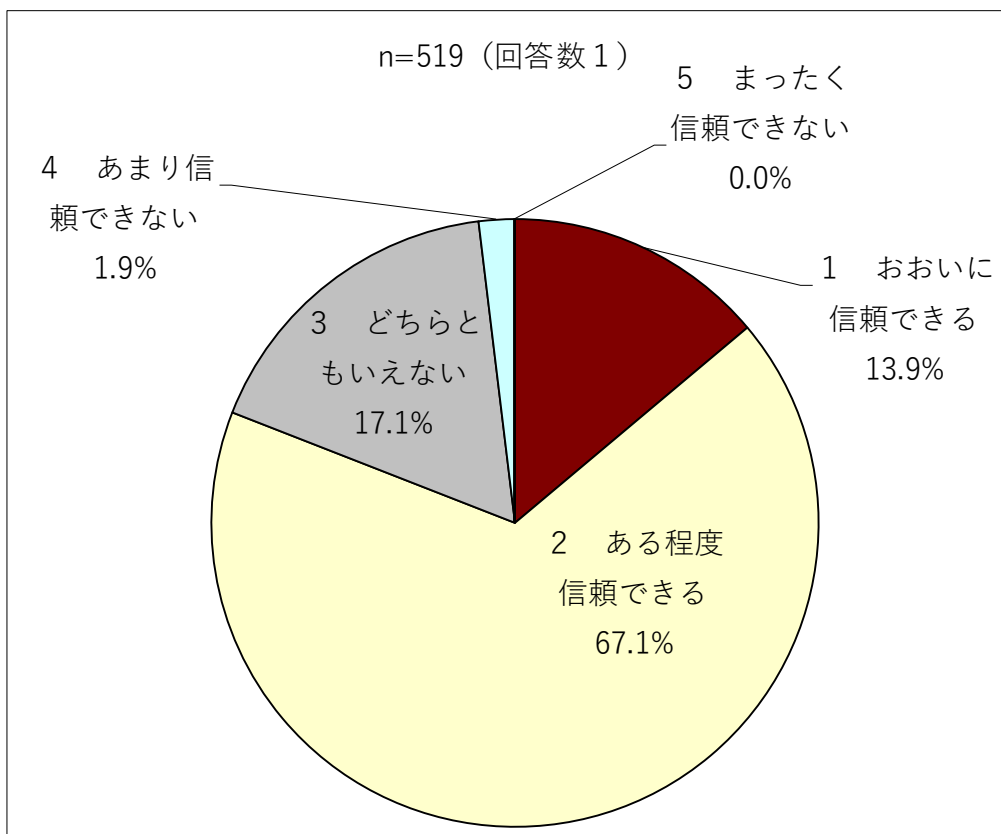
担当課 スポーツ・文化観光部文化政策課
 電話番号 054-221-2587
 FAX 054-221-2827
 メール arts@pref.shizuoka.lg.jp

担当課 スポーツ・文化観光部文化財課
 電話番号 054-221-3158
 FAX 054-221-2784
 メール bunkazai@pref.shizuoka.lg.jp

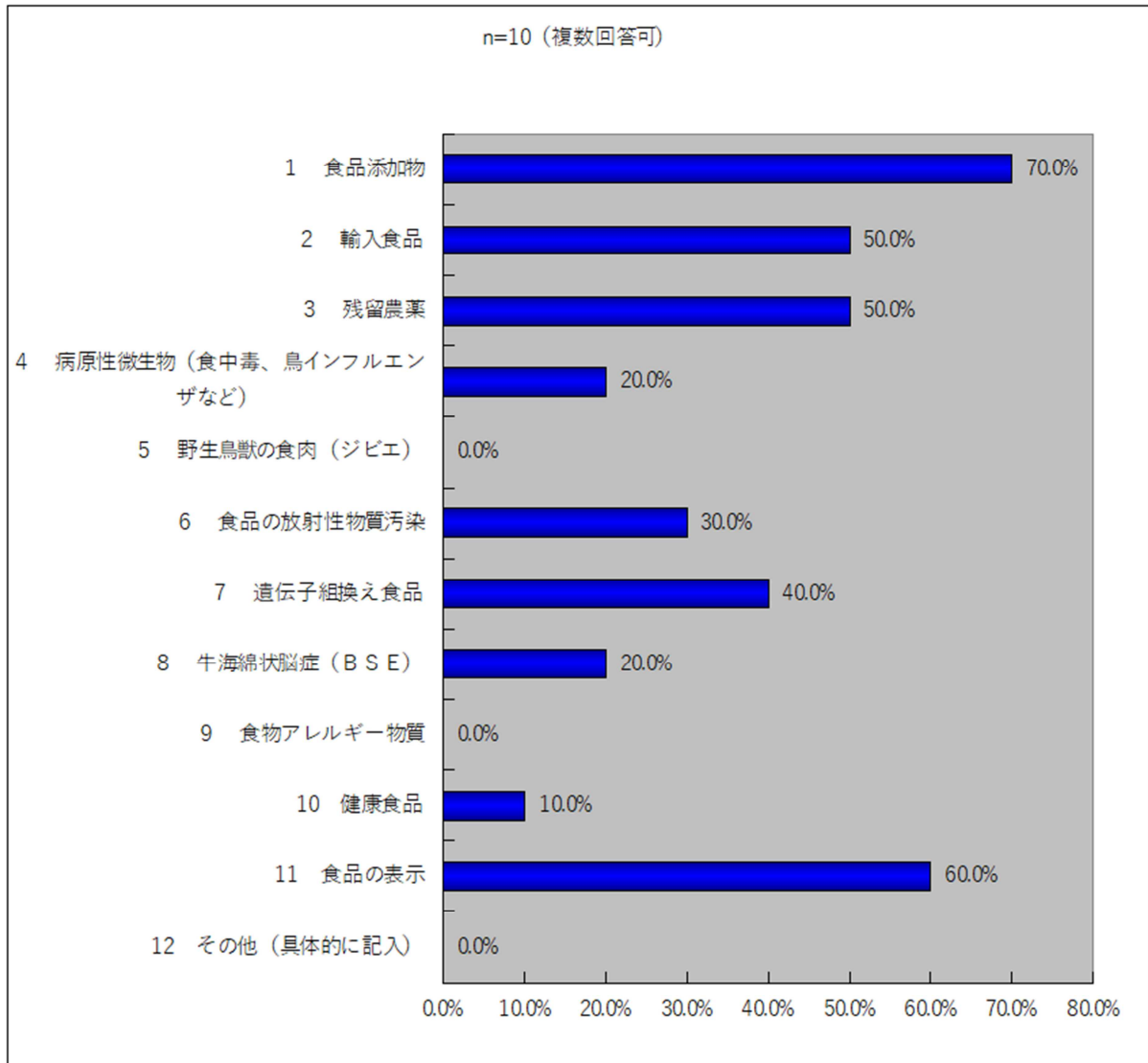
担当課 スポーツ・文化観光部富士山世界遺産課
 電話番号 054-221-3745
 FAX 054-221-3757
 メール sekai@pref.shizuoka.lg.jp

○食の安全・安心に関するアンケート

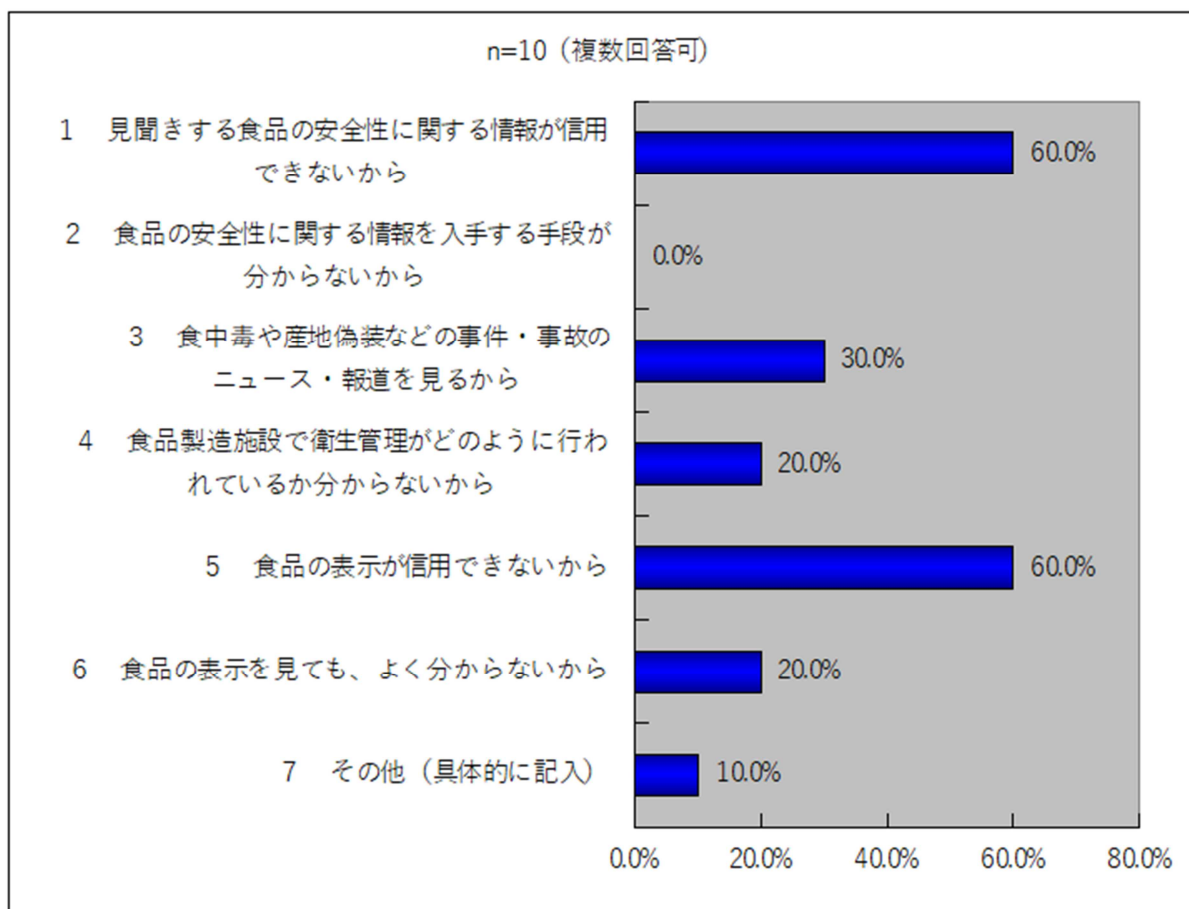
問1 あなたは、県内で購入する食品の安全性について、どの程度信頼できると思いますか。(回答数は1つ)



問1-2 問1で選択肢4または5を選択された方に伺います。具体的に何に対して不安を感じますか。(複数回答可)



問1-3 問1で選択肢4または5を選択された方に伺います。信頼できない理由は何ですか。(複数回答可)

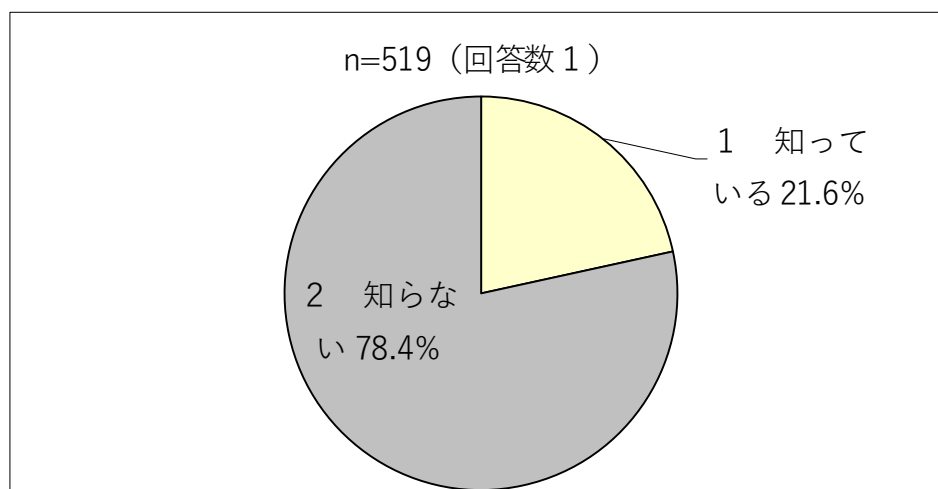


問2 県では、食の安全・安心を推進するために様々な取組を実施しています。

あなたは、次の5つの取組について知っていますか。(回答数は1つ)

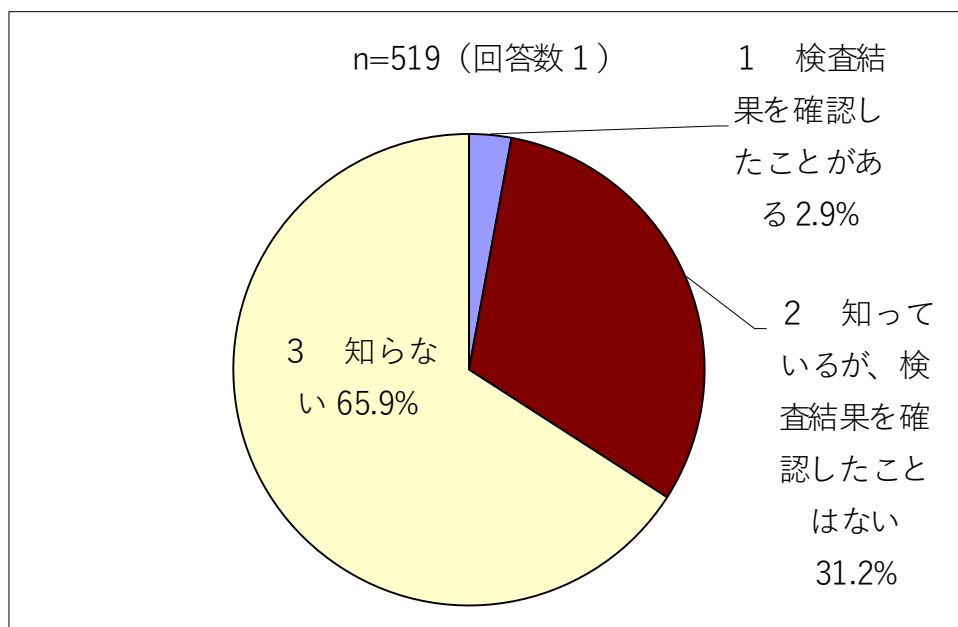
(取組1)食の総合相談窓口の設置

県民の皆様の食に関するあらゆる相談を受け付けるため、静岡県衛生課や県内各保健所の食品衛生担当課に設置している。



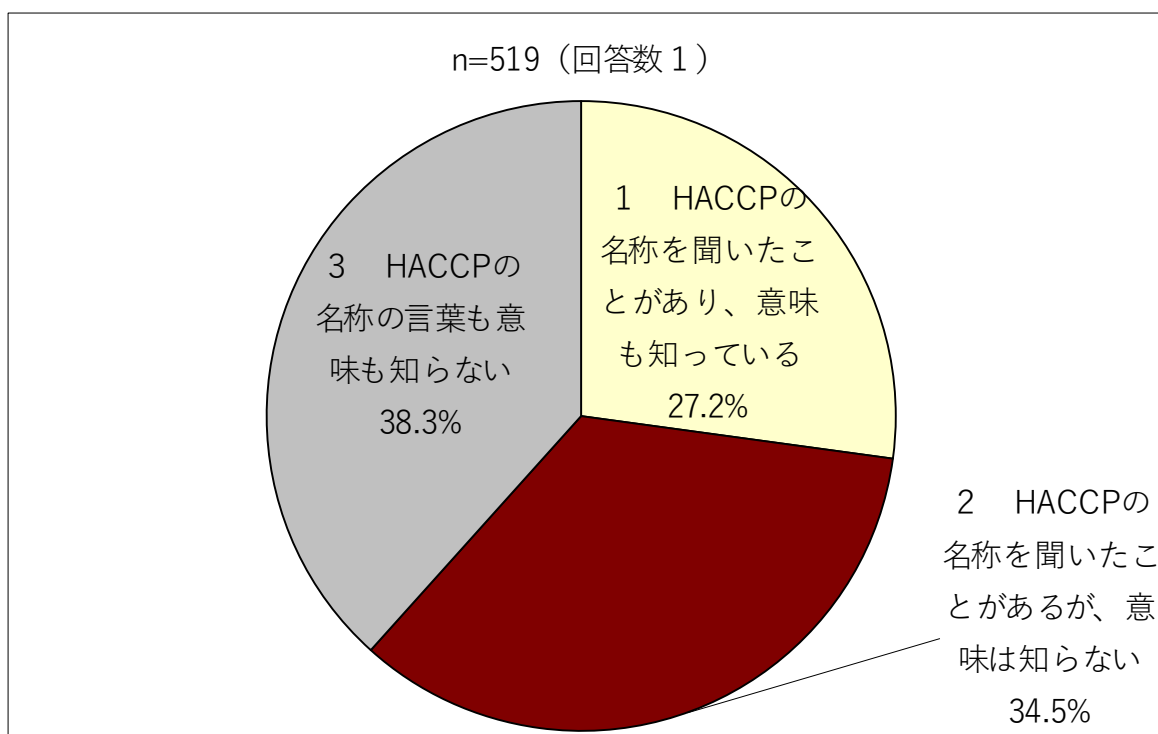
問2-2 (取組2)食品検査の検査結果の公表

食に対する不安を解消する観点から、県民の皆様の関心が特に高い項目(放射性物質、食物アレルギー物質、遺伝子組換え食品及び残留農薬)の検査結果についてホームページ等で公表している。

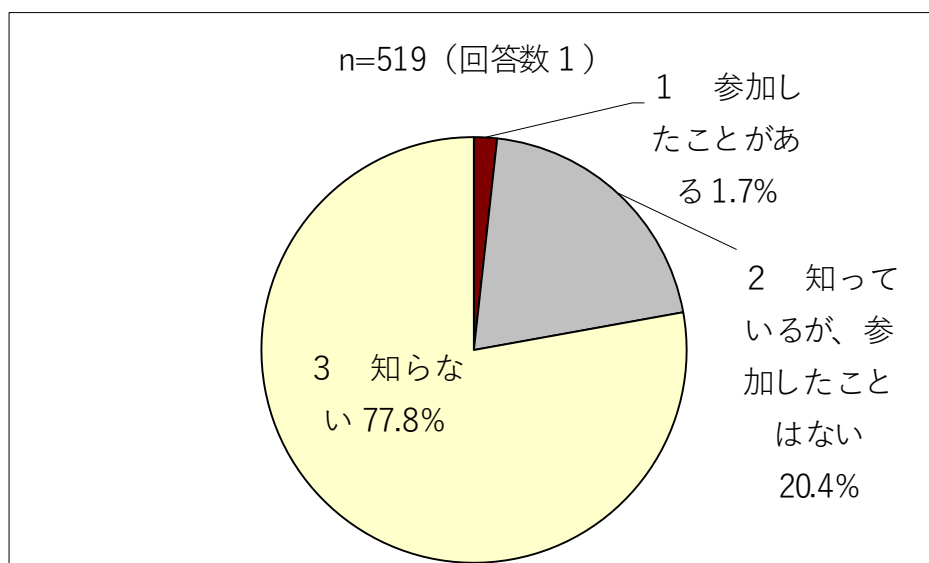


問2-3 (取組3)HACCP(ハサップ)による衛生管理の推進

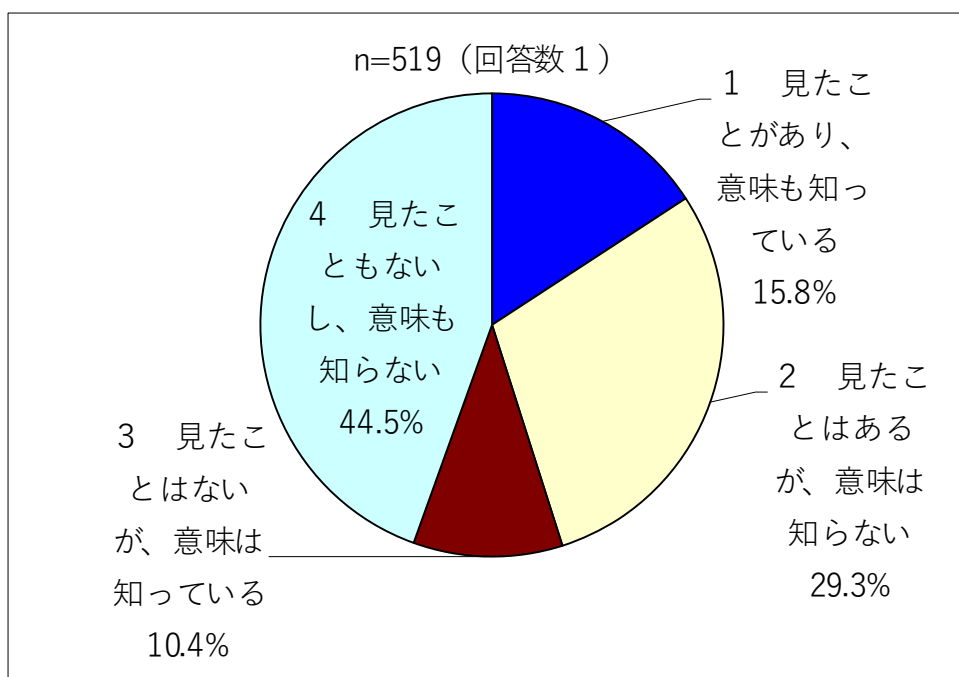
食品衛生法が改正され、令和3年6月1日から食品事業者は、安全な食品を製造するための衛生管理手法である、HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理を実施しています。



問2-4 (取組4)食の安全・安心に関する講習会、意見交換会の開催
食の安全・安心について、消費者との意見交換を通じた説明会を開催している。

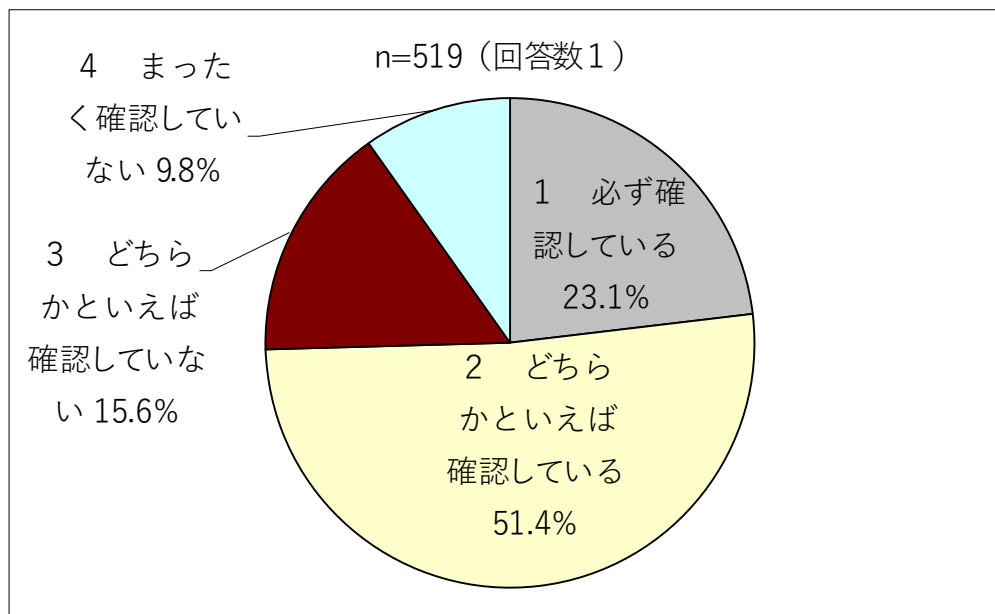


問2-5 (取組5)「食の都ブランド適正表示マーク」の商品表示または店舗掲示
静岡県では、食品表示が適正であることを示す「食の都ブランド適正表示マーク」の普及を図ることにより、食品表示の適正化を図っている。

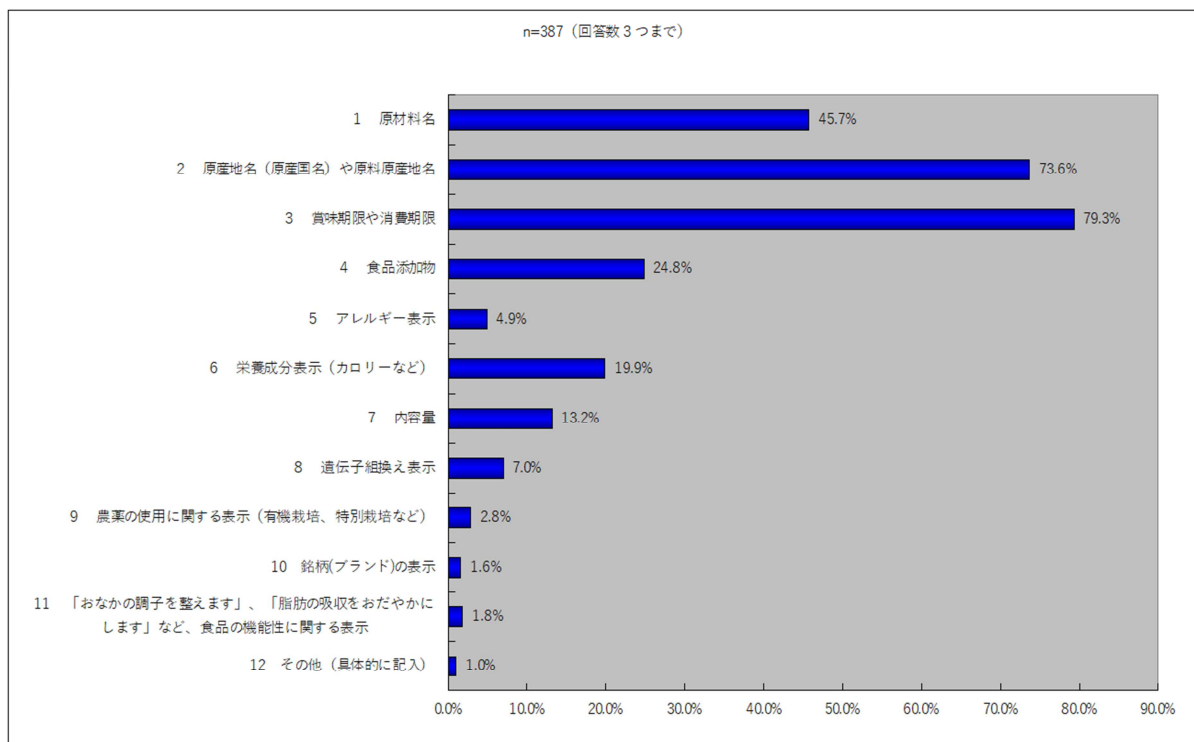


問3 あなたは、食品を購入する際に、食品表示を確認していますか。(回答数は1つ)

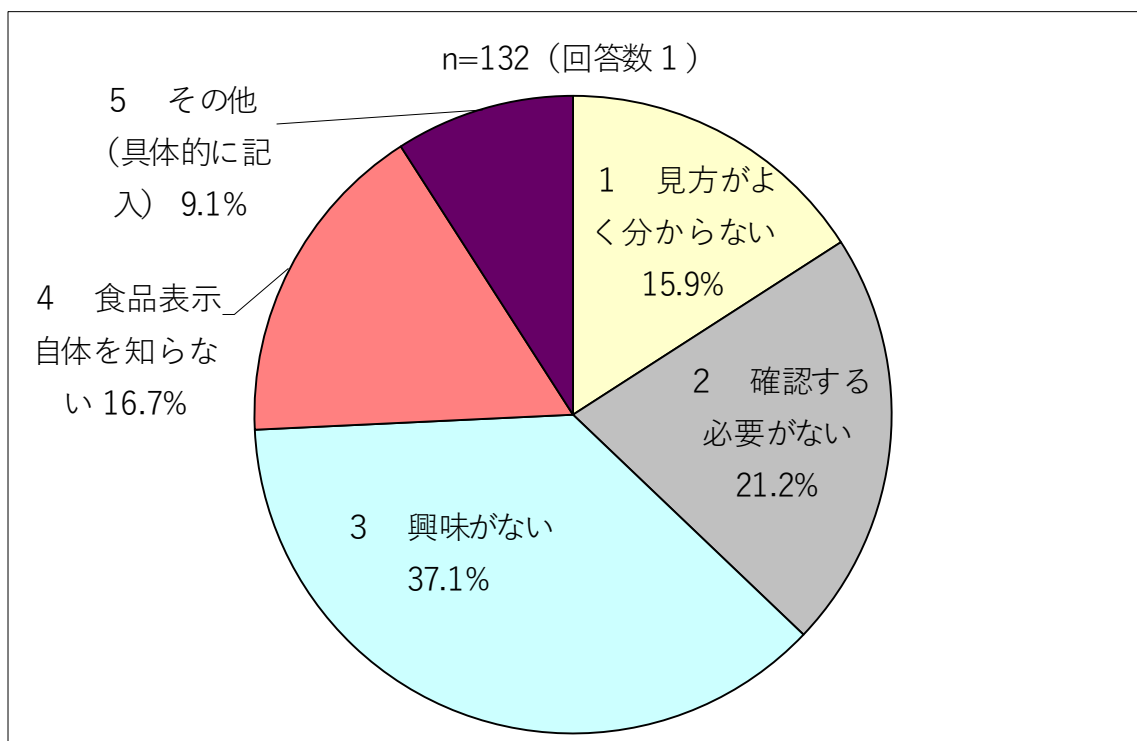
※食品表示とは、原材料や産地、賞味期限などその食品に関するさまざまな情報を消費者に知らせるための表示のことを言います。



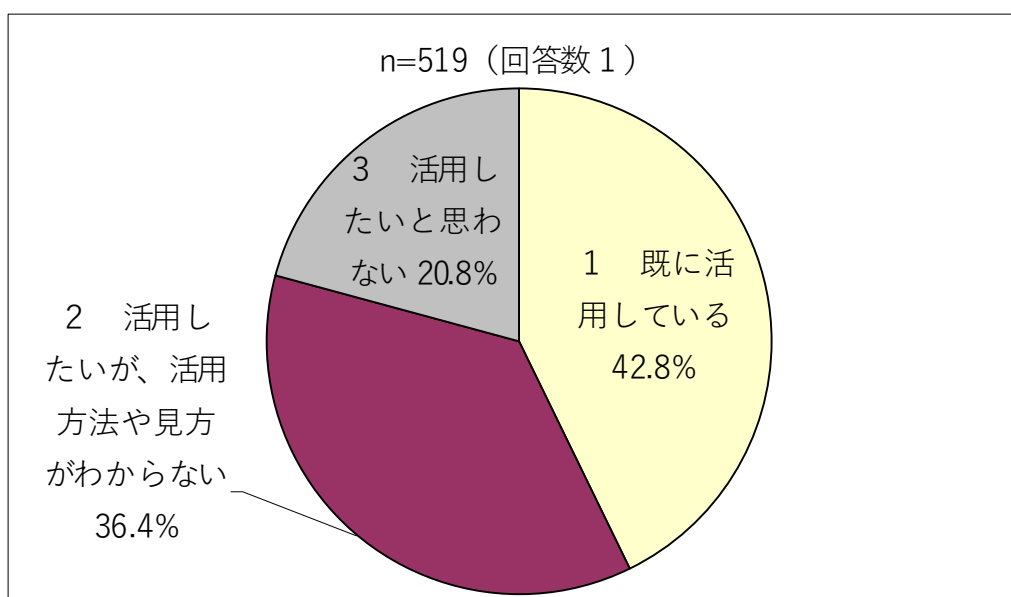
問3-2 問3で選択肢1または2を選択された方に伺います。あなたが、食品表示の中で主に確認している項目は何ですか。(回答数は3つ)



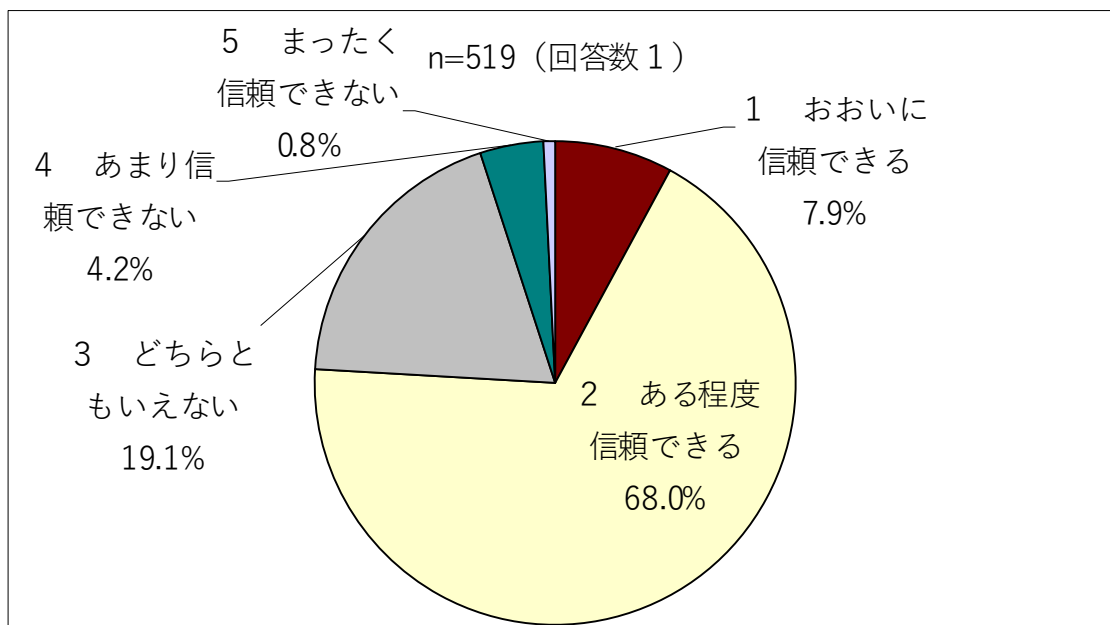
問3-3 問3で選択肢3または4を選択された方に伺います。
 あなたが、食品表示をあまり確認しない理由は何ですか。(回答数は1つ)



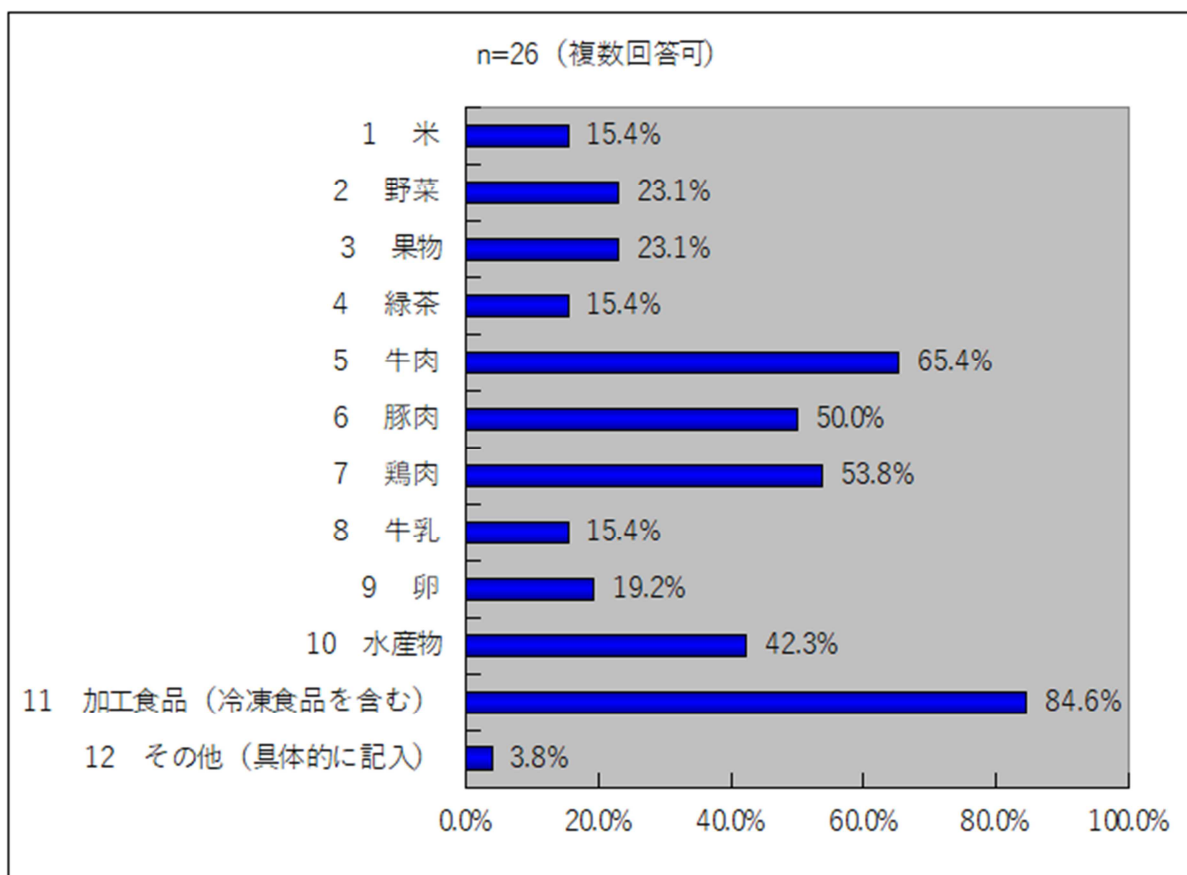
問4 あなたは、食品表示の中の栄養成分表示(カロリーなど)を活用したいと思いますか。(回答数は1つ)



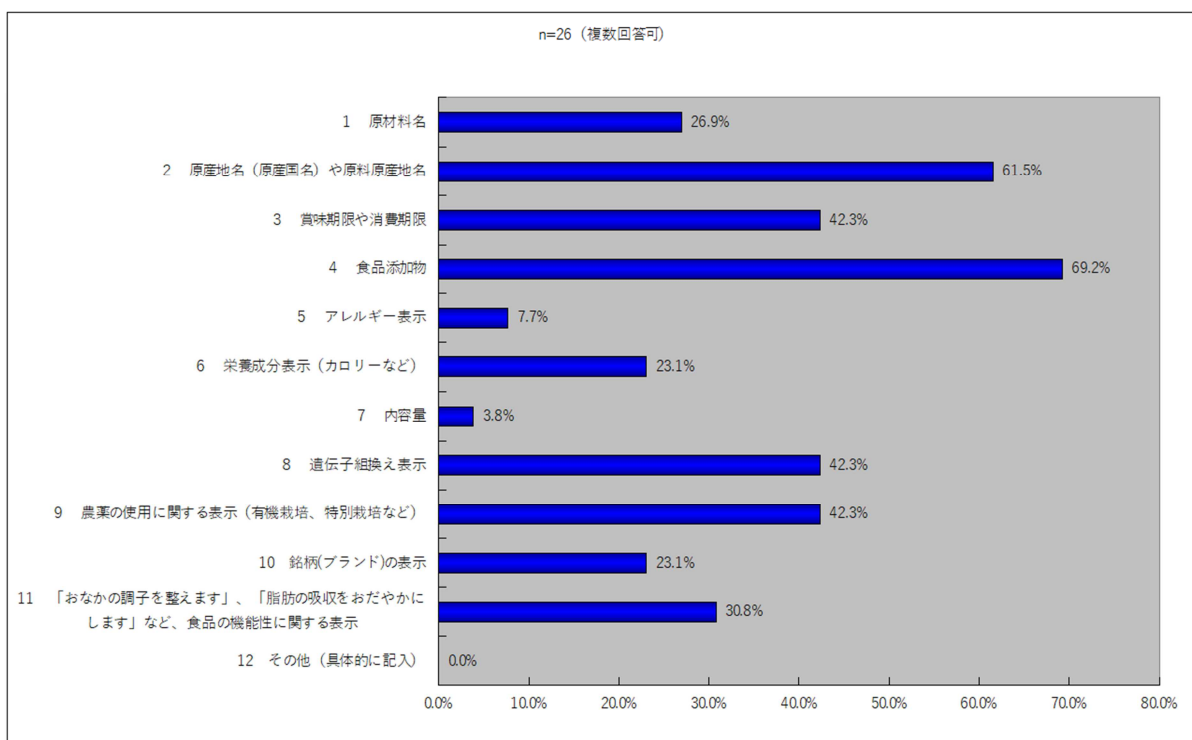
問5 あなたは、食品表示を信頼できると思いますか。(回答数は1つ)



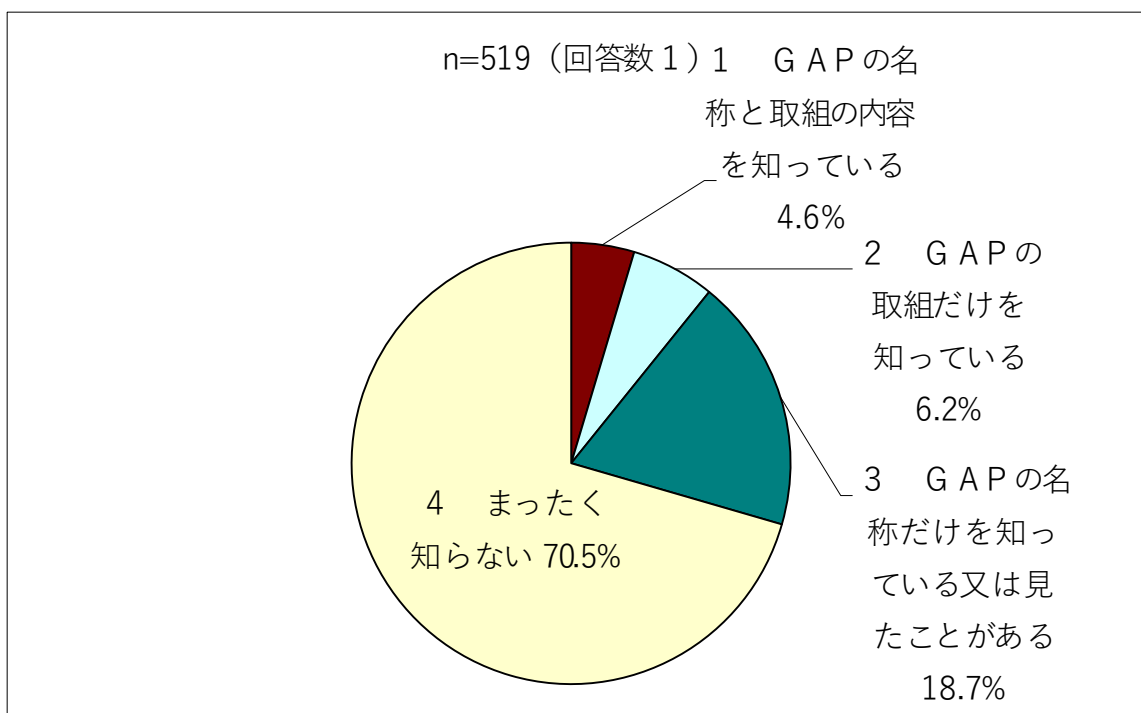
問5-2 問5で選択肢4または5を選択された方に伺います。あなたが、食品表示を信頼できないと思う食品は何ですか。(複数回答可)



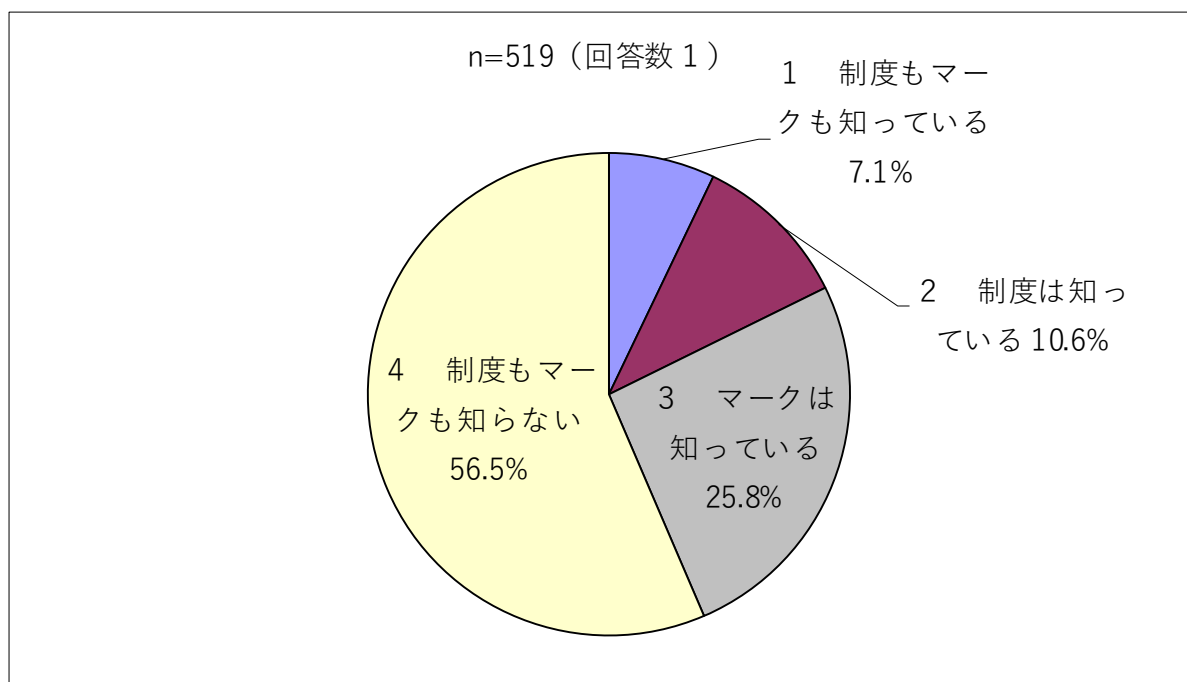
問5-3 問5で選択肢4または5を選択された方に伺います。あなたが信頼できないと思う食品表示の内容は何ですか。(複数回答可)



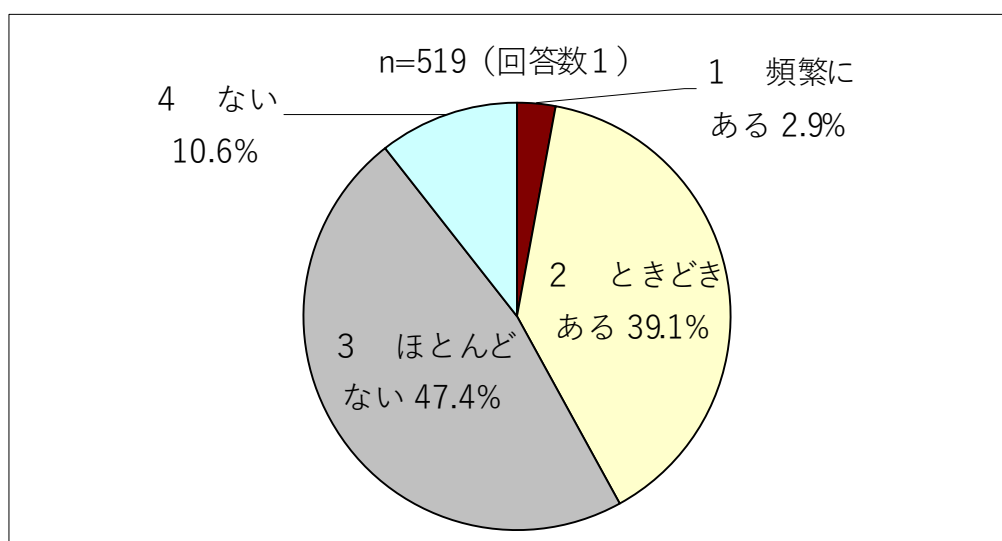
問6 GAP(農業生産工程管理)とは、農業者が農産物を生産する際に①食品安全、②環境保全、③労働安全等のリスクを減らすために実施する様々な取組です。あなたは、この農業者が実施する「GAP」を知っていますか。(回答数は1つ)



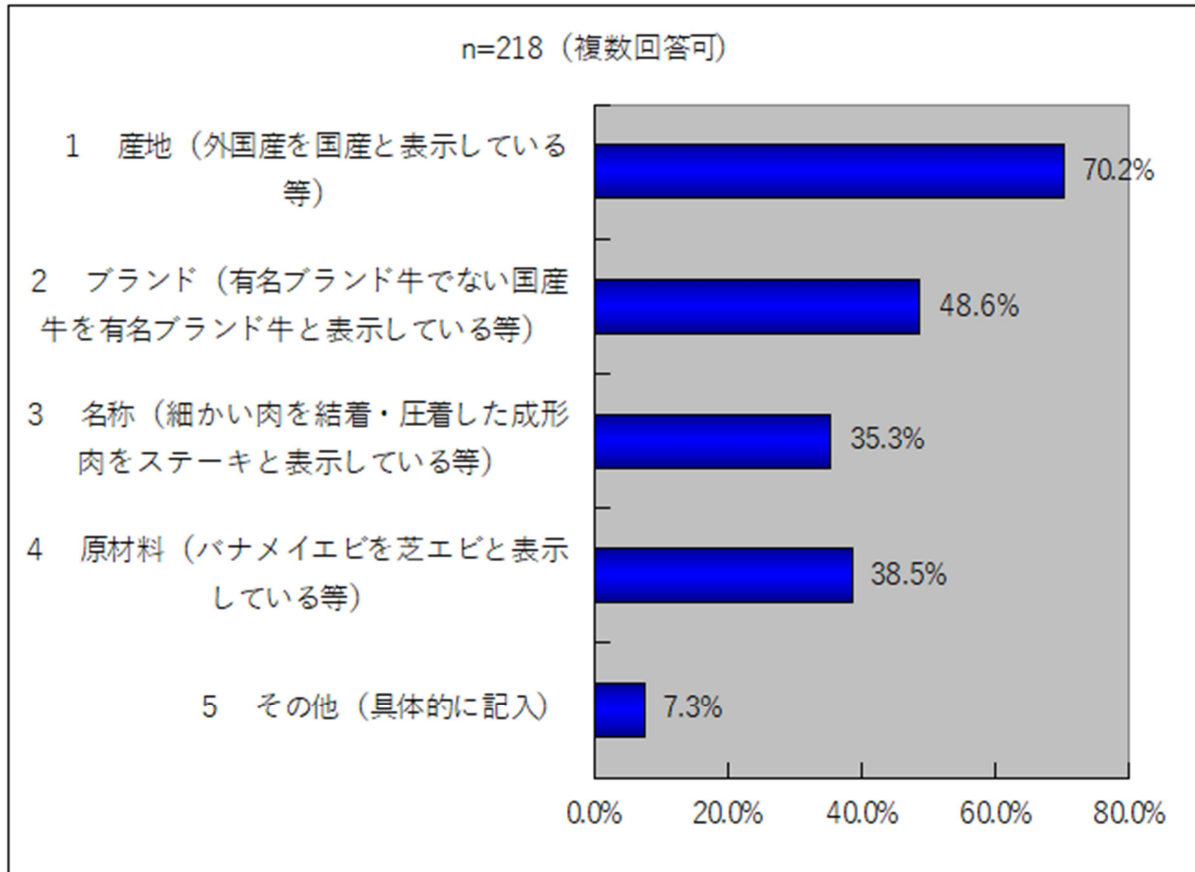
問7 しずおか農林水産物認証制度は、食の安全・安心向上に努める、県内の農林水産業者の取組を認証する静岡県版のGAP認証制度です。環境にやさしい生産方法や、作業現場の衛生管理、情報開示などに関するルール作りと、その実践・改善の取組について、県が審査しています。認証取得者は「しずおか農林水産物認証制度マーク」を農産物に表示して販売できますが、あなたはこの制度とマークを知っていますか。(回答数は1つ)



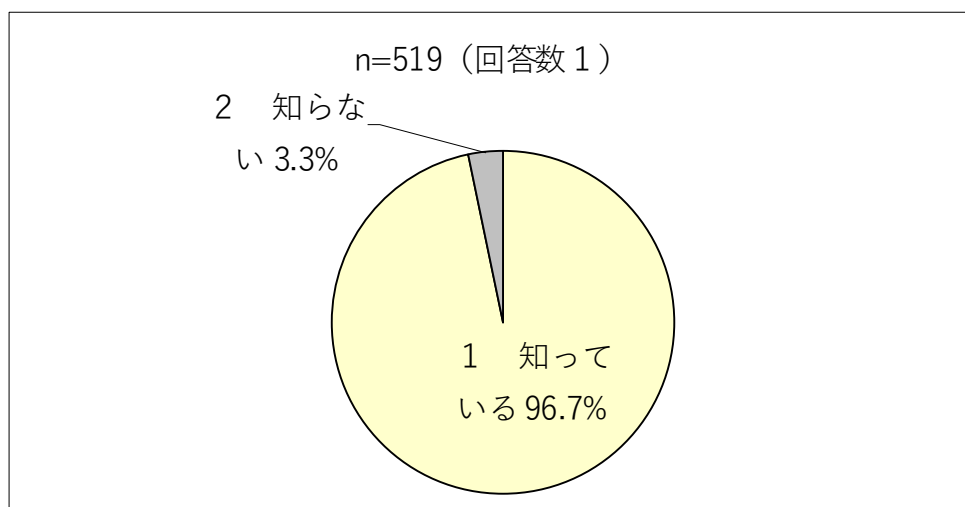
問8 あなたは、日常生活で目にする食品表示(レストランのメニューや食品のパッケージ等)について、事実と異なった食材や産地を表示しているのではないかなど、不審に思ったことはありますか。(回答数は1つ)



問8-2 問8で選択肢1または2を選択された方に伺います。あなたが、不審に思った表示はどんなものですか。(複数回答可)

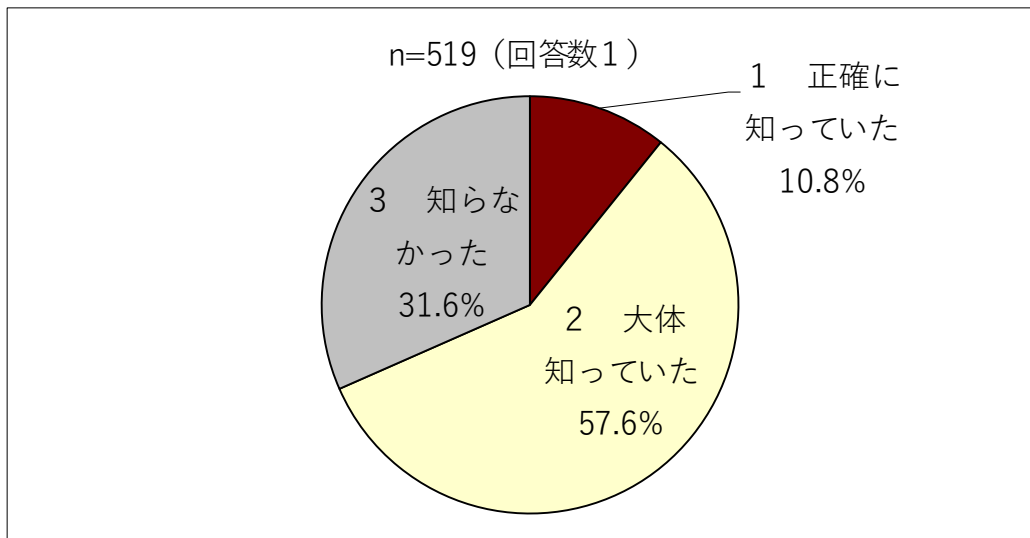


問9 「有機」「オーガニック」という言葉を知っていますか。(回答数は1つ)

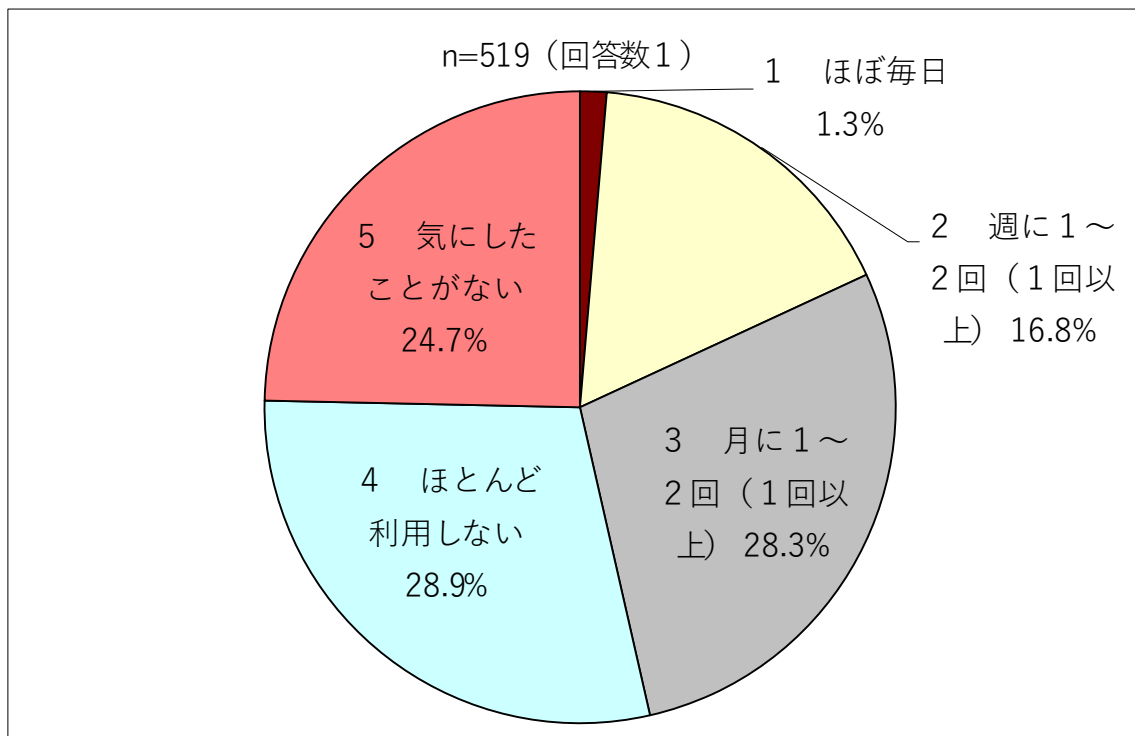


問 10 認証を受けた食品でなければ「有機」「オーガニック」と表示できないことを知っていましたか。(回答数は1つ)

※「有機食品」とは、化学合成農薬、化学合成肥料に頼らず、環境負荷をできる限り少なくする方法で生産された農産物と畜産物、それらを原料とした加工食品のことをいい、表示には有機 JAS 認証の取得が必要です。

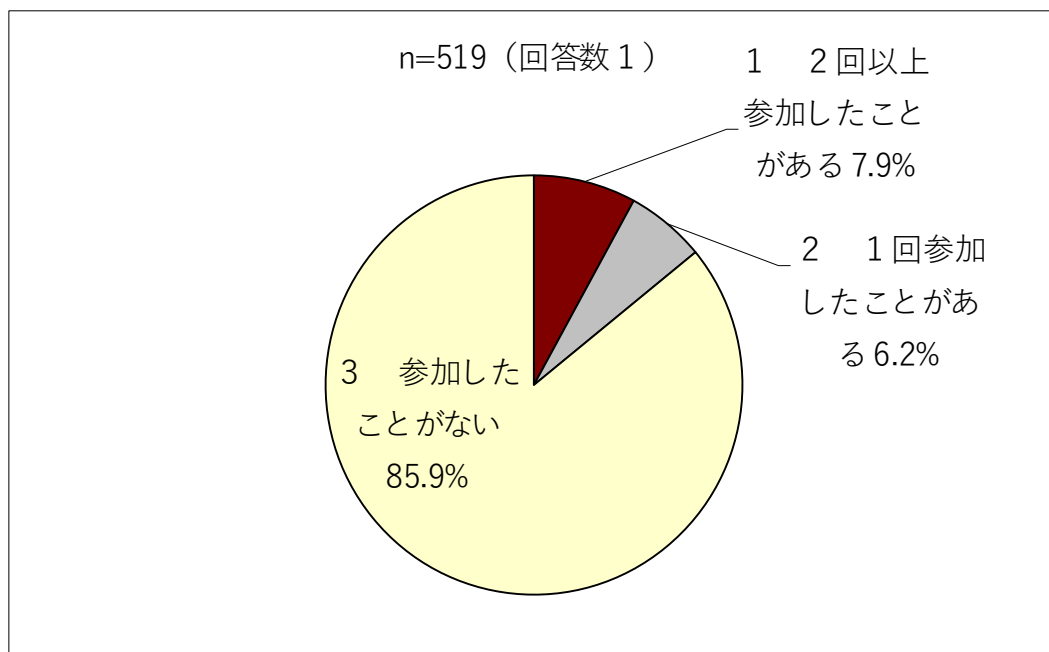


問 11 有機食品の購入や、外食等での利用頻度はどの程度ですか。(回答数は1つ)

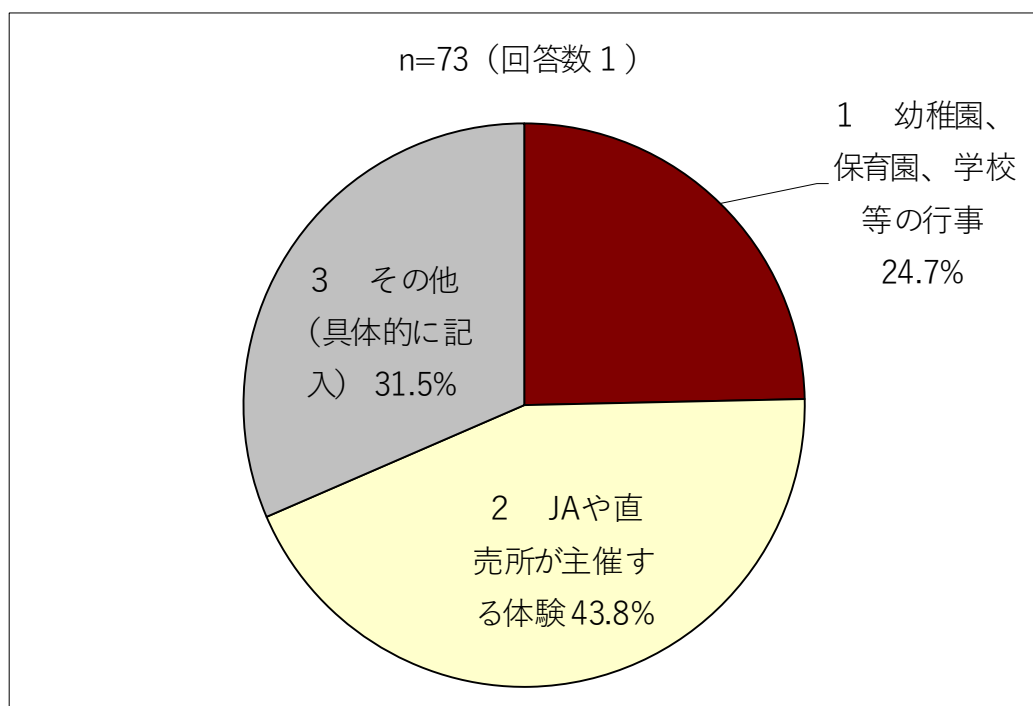


問 12 食の安全・安心の確保においては、消費者と生産者の交流が重要な役割を持ちます。農林漁業者のもとで栽培や収穫などを体験する農林漁業体験は、その大きな機会と言えます。

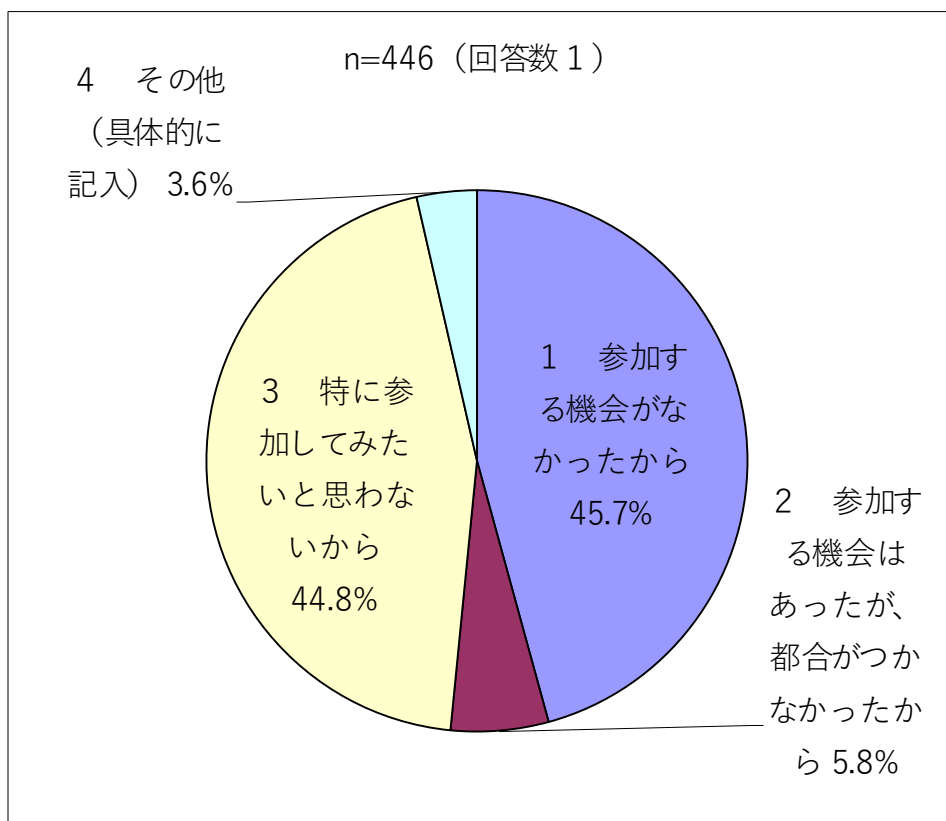
あなたは、これまでに農林漁業者等のもとで、農林漁業体験に参加したことがありますか。(回答数は1つ)



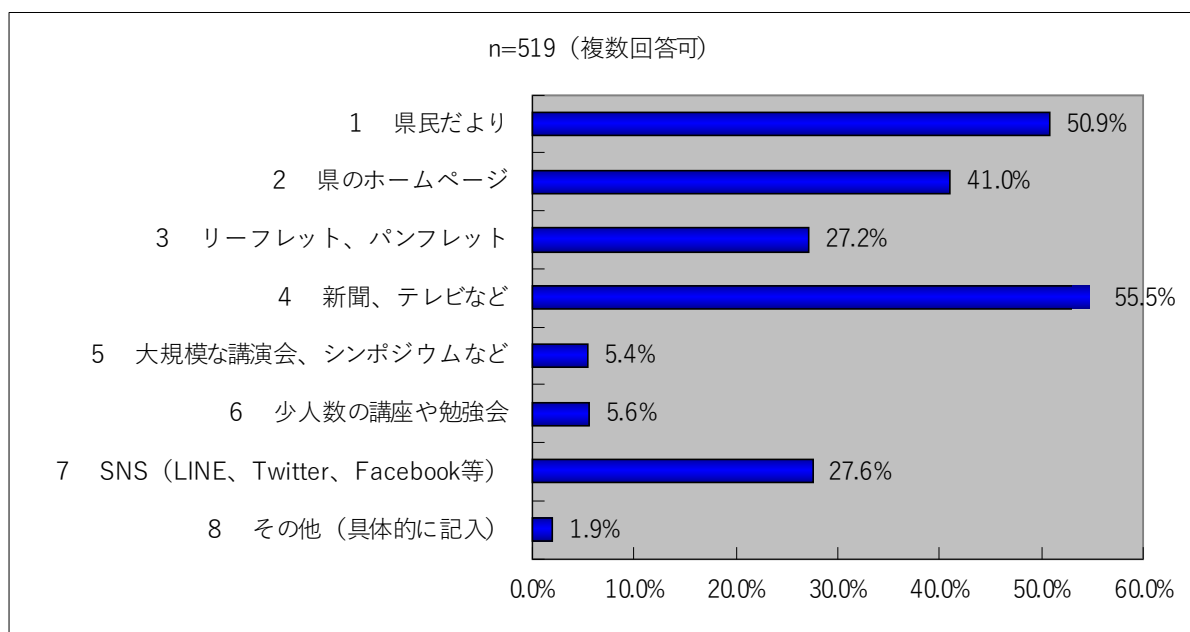
問 12-2 問 12 で選択肢1または2を選択された方に伺います。農林漁業体験に参加したのはどのような機会ですか。(回答数は1つ)



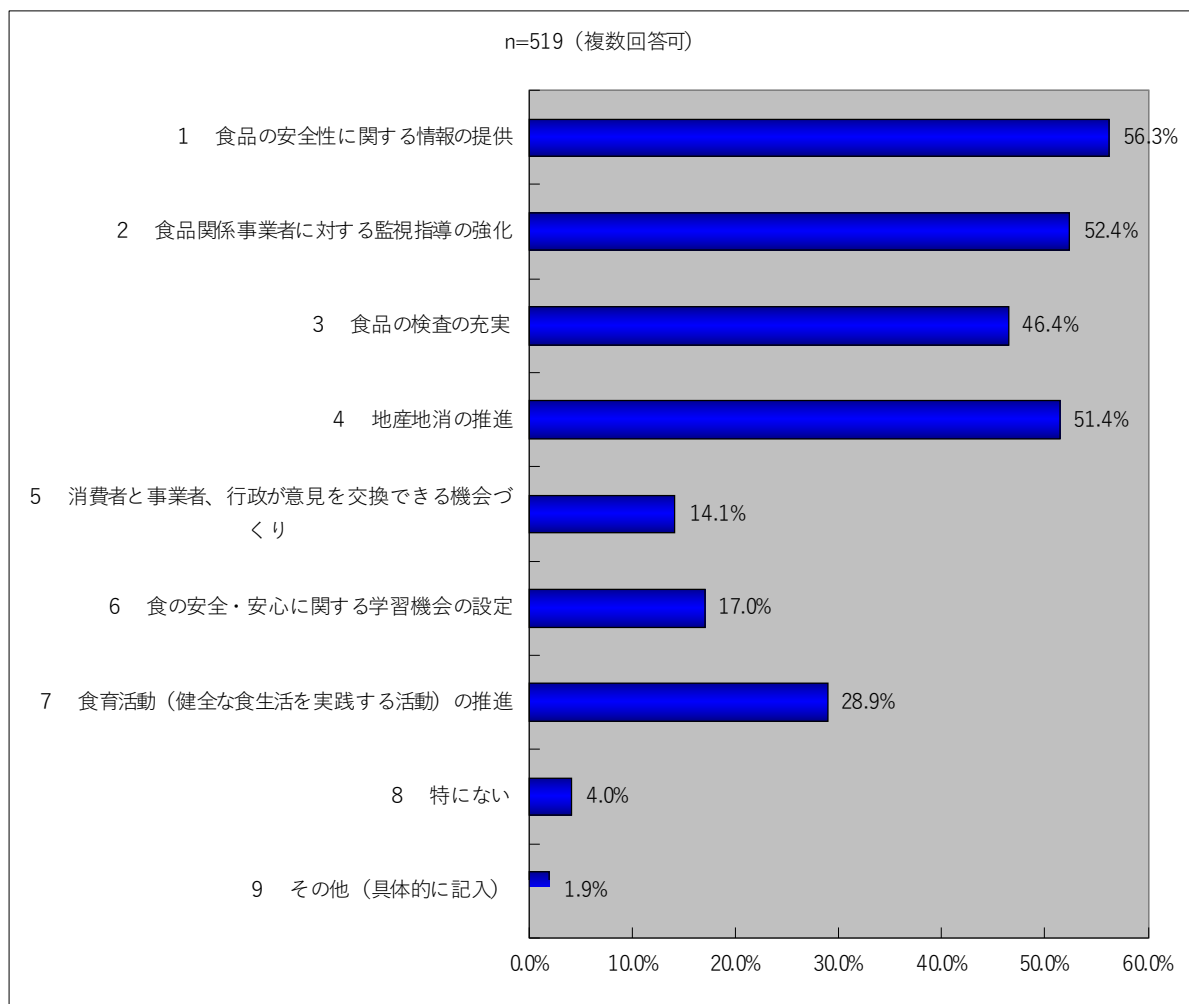
問 12-3 問 12 で選択肢3を選択された方に伺います。今まで参加しなかった主な理由は何ですか。(回答数は1つ)



問 13 あなたが、県から食の安全・安心に関する情報を得る場合、どのような手段で入手しようと思いますか。(複数回答可)



問 14 食の安全・安心を確保するために、あなたが今後県に望むことは何ですか。(複数回答可)



問 15 食の安全・安心について日頃お気付きの点があれば、ご自由にお書きください。(500字以内)

担当課 健康福祉部生活衛生局衛生課
電話番号 054-221-2446
FAX 054-221-2342
メール eisei@pref.shizuoka.lg.jp